第４３回 全日本レディース バドミントン選手権大会

都道府県対抗・クラブ対抗

《 期　　日 》 令和7年7月24日(木)・25日(金)・26日(土)・27日(日)

《 会　　場 》 和歌山ビッグホエール
和歌山ビッグウエーブ

《 主　　催 》 公益財団法人日本バドミントン協会
日本レディースバドミントン連盟

《 主　　管 》 和歌山県バドミントン協会
和歌山県レディースバドミントン連盟

《 後　　援 》 和歌山県　和歌山県教育委員会　(公社)和歌山県ｽﾎﾟｰﾂ協会
和歌山市　和歌山市教育委員会　(公社)和歌山県観光連盟

《 特別協賛 》 ヨネックス株式会社

《 協　　賛 》 ミズノ㈱　アメアスポーツジャパン㈱　㈱ VICTOR SPORTS
グローブライド㈱　㈱ゴーセン　ファイテン㈱
アイベックスポーツ㈱　㈱落合コーポレーション

ごあいさつ



公益財団法人　日本バドミントン協会
会　長　村　井　　満

第43回全日本レディースバドミントン選手権大会（都道府県対抗・クラブ対抗）が、熊野三山や高野山などの世界遺産を有し、海・山・川の自然に恵まれたここ和歌山県で開催されますことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年のパリオリンピックでは、混合ダブルスで渡辺勇大・東野有紗組、女子ダブルスで志田千陽・松山奈未組が銅メダルを獲得、女子シングルスで山口茜、大堀彩がベスト８と素晴らしい成績を収めました。このような国際大会での活躍は、2028年のロサンゼルス、2032年のブリスベンオリンピックへ向けて、大きな希望となっています。

昨今の大きな社会変革の中で、スポーツは大きな役割を求められ、多くの感動を与えてくれます。今大会の選手の皆様方が織りなすバドミントンの大きな力が、様々な問題解決の一助となり、未来を切り拓く力につながることを確信しております。

本大会は各都道府県の厳しい予選会を突破した年齢別で構成された都道府県対抗戦と社会人になってから競技を始められた方が一丸となって競うクラブ対抗戦があり、これまで培われてきた技と力を存分に発揮し、悔いを残すことがないよう全力を尽くして競技に臨んでいただきたいと思います。そしてバドミントンを通じた交流により、全国各地から集まった仲間と健闘を称えあい大いに親睦と友好を深める大会になることを心より祈念しております。

最後になりますが、本大会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました日本レディースバドミントン連盟、そして温かいご支援ご協力を賜りました和歌山県バドミントン協会、和歌山県レディースバドミントン連盟の皆様を始め、関係各位に深く感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



日本レディースバドミントン連盟
会　長　民　谷　千寿子

このたび、第43回全日本レディースバドミントン選手権大会を和歌山県和歌山市に於いて開催できますことを心より幸甚に存じます。

各都道府県から、厳しい選抜試合や予選を勝ち抜いて出場権を得た選手達がしのぎを削る本大会の舞台となる「和歌山ビッグホエール」は、その名の通り巨大なクジラをモチーフとしているとのこと。古くから繁栄や成功を呼び込むとされたクジラの存在感は、ご来場の皆様に力強いエネルギーをもたらすものと期待しております。本年より会長という大役を仰せつかりました私にとりましても、当会場で皆様をお迎え出来ますことは吉兆であると確信し、都道府県対抗・クラブ対抗がバドミントンを愛好するすべての女性が憧憬する大会として継続されるとともに、さらなる充実を図るためにも日本レディースバドミントン連盟役員一同、一丸となり邁進していく所存でございます。

選手の皆様には日頃の実力を遺憾なく発揮されるとともに、自然、歴史、山海の幸などの魅力溢れる和歌山県を存分に味わい､記憶に残る大会となりますことを祈念いたします。

また、昨年に引き続き令和６年能登半島地震の復興支援として「BIRD JAPAN 募金」プロジェクトを主催三大会において継続いたしますので、本事業へのご賛同とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、開催にあたり多大なるご協力とご支援を賜りました関係者各位に厚く御礼を申し上げますとともに、主管いただく和歌山県バドミントン協会、和歌山県レディースバドミントン連盟の皆様のご尽瘁に深謝し、心より敬意を表します。

祝　辞



和歌山県知事
宮　崎　　泉

「第 43 回全日本レディースバドミントン選手権大会」が本県において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から参加される選手、関係者の皆様を心から歓迎いたします。

バドミントンは、瞬発力や持久力、反射神経などの運動能力を鍛えるだけではなく、テクニックや戦略を必要とした奥深いスポーツです。自身の運動能力に合わせて手軽に始めることができるため、こどもから大人まで幅広い世代の方に愛好されています。

各都道府県を代表して参加される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されるとともに、本大会での貴重な経験を糧に、心身ともにより一層成長されることを期待いたします。

また、本県には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」などの誇るべき文化、景観や新鮮な食材等が豊富にあります。県外からお越しの皆様には、是非この機会に「聖地リゾート！和歌山」の魅力に触れていただき、よき思い出としていただければ幸いです。

さて、2027 年には関西一円で、世界最高峰の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」が開催されます。バドミントン競技をはじめとする 35 競技 59 種目の競技の実施が予定されており、本県においても、５競技７種目に加え２種のオープン競技の実施が予定されておりますので、是非多くの方に御参加いただきたいと思います。

また、本年 11 月には、耳がきこえない、きこえにくい人のためのオリンピック「東京 2025 デフリンピック」が開催されますので、注目していただきたいと思います。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました皆様に深く敬意を表するとともに、大会の御成功、並びに選手の皆様の御健闘を祈念いたしまして、祝辞といたします。

祝　辞



和歌山市長

尾　花　正　啓

本日ここに、第43回全日本レディースバドミントン選手権大会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しの皆様を心より歓迎申し上げます。

スポーツは人間性を豊かにするとともに活力に満ちた社会づくりに大きく貢献するものであります。中でも、バドミントンは屋内･屋外を問わず楽しむことができ、体力や年齢、運動能力に合わせて取組むことができる生涯スポーツとして、多くの方々にとって親しいやすいものであるとともに、反射神経と運動能力、戦術と戦略を活かした試合展開が魅力のスポーツであります。

本日、出場されます選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、レベルの高い試合が繰り広げられること、全国各地の仲間とバドミントンを通した爽やかな交流の輪をひろげ、実り多い大会となることを願っております。

さて、本市は、緑あふれる豊かな自然と黒潮がもたらす温暖な気候に恵まれ、江戸時代には御三家のひとつである紀州徳川家が治めた和歌山城や、万葉の時代より歌にも詠まれており、日本遺産に認定された「絶景の宝庫　和歌浦」などの歴史や文化、自然など、たくさんの魅力がございます。ぜひ、この機会に本市の魅力を堪能していただき、よき思い出を作っていただければ幸いです。

結びに、本大会開催にあたり、ご尽力されました関係者の皆様方に改めて敬意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様方のご健闘を祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。

歓迎のことば



和歌山県バドミントン協会
会　長　石　田　真　敏

第43回全日本レディースバドミントン選手権大会（都道府県対抗・クラブ対抗）が、全国各地の予選会を勝ち抜かれた選手の皆様、そして役員の皆様を和歌山県にお迎えして盛大に開催できますことはこの上ない喜びであり、和歌山県バドミントン協会を代表して心より歓迎申し上げます。

近年、日本のバドミントン界は世界でトップクラスであり、昨年のパリ五輪では、代表選手の皆さんはバドミントン競技に寄せられた大きな期待に応え、女子ダブルスと混合ダブルスでのメダル獲得をはじめ大活躍され、私も大いに心が躍りました。さらに、こうした世界的な活躍は、バドミントン競技の裾野の広がりにつながるだけに、協会会員としても心強い限りでした。

さて、バドミントン競技は、年齢や性別を問わず気楽に楽しめるスポーツとしても広く親しまれています。この大会はレベルも高く、選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、大会を盛り上げていただくことはもとより、全国各地から参加者の皆様と親善交流を深められ、心に残る大会となりますように願っています。

また、ここ和歌山市は、紀伊半島の北西部にあります。紀ノ川の河口に位置し、瀬戸内海の一角を占め、緑あふれる豊かな自然と、黒潮がもたらす温和な気候に恵まれています。古くは徳川御三家のひとつ紀州藩五十五万五千石の城下町として栄え、今なお悠久のロマン漂う町でございます。時間に余裕のある方は、是非、この機会に歴史散策を楽しまれてはいかがでしょうか。和歌山の「紀伊山地の霊場と参詣道」は世界遺産に登録されています。本州最南端の串本、落差日本一の那智の滝、熊野古道、高野山など、神秘的で美しい和歌山の山々に、足を延ばしていただければと思います。

そして和歌山県はみかんで有名ですが、一年中さまざまな果物を堪能できるフルーツ王国でもあります。観光に、食に、そしてお土産に、ぜひ和歌山をいっぱい楽しんでください。

結びに本大会の開催にあたり格別のご支援ご協力を賜りました役員並びに関係者の皆様に深く感謝し心よりお礼申し上げますとともに、レディース連盟の益々の発展と大会の成功を心より祈念申し上げ歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



和歌山県レディースバドミントン連盟
会　長　　北　畑　達　哉

第43回全日本レディースバドミントン選手権大会をここ和歌山県で開催できることを大変嬉しく思っております。

全国各都道府県を代表する選手の皆様、厳しい予選を勝ち抜いた選手の皆様、また役員の皆様を心より歓迎申し上げます。

和歌山県では、2020年第15回全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）を主管する予定でしたが、コロナ禍の影響で中止になりましたため、初めての全国大会開催となります。個人戦と団体戦では違うところもありますが、役員一丸となってしっかり準備をしてまいりました。

今やバドミントン競技はオリンピックに出ればメダルを獲得するという、日本の中でも世界トップクラスの選手が輩出されている競技の一つになっています。そのバドミントン競技の１種大会を開催することで、ここ和歌山県のバドミントンも活性化を図れると期待しております。

参加される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、この和歌山大会が思い出に残る大会になりますことを願っています。

会場である和歌山ビッグホエール、ビッグウエーブは和歌山市内中心部に位置し、近くには和歌山市のシンボルでもある和歌山城が鎮座しています。また、車で少し走れば、万葉歌人に愛された和歌の聖地である和歌の浦や片男波、日本のアマルフィと呼ばれる雑賀崎、和歌山マリーナシティなど、風光明媚な観光地がたくさんあります。もう少し足を運んでいただけましたら、本州最南端に位置し、雄大な太平洋に面している和歌山ならではの荒波が生み出す造形美や素晴らしい景色が多く見られます。その他にも悠久の昔から信仰を集めた熊野や高野山があります。和歌山には温泉も多くあり、市内では約30ヶ所、また、市外に出ますと有名な白浜温泉、龍神温泉をはじめ、日本を代表する温泉があります。この機会に皆様もぜひ一度、和歌山の温泉を堪能していただければと思います。

また、食に関しても梅やみかんを代表するフルーツをはじめ、有名な和歌山ラーメン、また海が近い事もあるので新鮮な魚介類が楽しめます。試合が終われば、和歌山を満喫していただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にご尽力、ご支援を頂きました関係各位の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念し、歓迎のごあいさつといたします。

開会式次第

1.	**開 式 通 告**		
2.	**開 会 宣 言**	大会委員長	小 国 久 美
3.	**優 勝 杯 返 還**	都道府県対抗	福 岡 県
		クラブ対抗	ぶきっちょ倶楽部 （熊 本 県）
4.	**開 会 挨 拶**	公益財団法人日本バドミントン協会 会長	村 井 満
		日本レディースバドミントン連盟 会長	民 谷 千寿子
5.	**歓迎のことば**	和歌山県バドミントン協会 会長	石 田 真 敏
6.	**祝 辞**	和歌山県 知事	宮 﨑 泉
		和歌山市 市長	尾 花 正 啓
7.	**来 賓 紹 介**		
8.	**競技審判上の注意**	レフェリー（競技役員長）	髙 崎 操
9.	**選 手 宣 誓**	和歌山県チーム	森 美 江
10.	**閉 式 通 告**		

閉会式次第

1.	**開 式 通 告**		
2.	**成 績 発 表**	レフェリー（競技役員長）	髙 崎 操
3.	**表 彰**	大会会長	民 谷 千寿子
4.	**次期開県挨拶**	徳島県レディースバドミントン連盟理事長	西 岡 都
5.	**閉 会 挨 拶**	大会会長	民 谷 千寿子
6.	**閉 会 宣 言**	大会委員長	小 国 久 美

大会役員

（順不同・敬称略）

大会名誉会長

公益財団法人 日本バドミントン協会	会長	村井 満
日本レディースバドミントン連盟	名誉会長	天野 博江

大会名誉顧問

和歌山県	知事	宮﨑 泉
和歌山市	市長	尾花 正啓

大会会長

日本レディースバドミントン連盟	会長	民谷 千寿子

大会副会長

公益財団法人 日本バドミントン協会	副会長	朝倉 康善
日本レディースバドミントン連盟	副会長	廣瀬 園子
和歌山県バドミントン協会	会長	石田 真敏
和歌山県バドミントン協会	副会長	北畑 達哉
和歌山県バドミントン協会	副会長	岩西 壯行
和歌山県バドミントン協会	副会長	宮本 義友
和歌山県レディースバドミントン連盟	会長	北畑 達哉

大会顧問

吉村 恭子	坂本 敏彦	伊藤 公子	鎌田 咲子
樋渡 満子	板垣 尚美	永井 香代子	幡谷 定俊
大島 喜代子	木暮 英代	肥留川 葉子	吉田 千代子
中澤 悦子	塩路 雅子	石井 泉	桝口 敏行
金井 寿美江	池田 やす子	堀 純子	大石 小夜子
山田 文香	堀尾 恵美子	中西 亮子	宇山 昌子
田中 田鶴子	的場 幸枝	山本 邦子	池田 久美子
眞柄 浩	重井 文博	坂田 和子	林 裕子
綾野 和男	植田 宏和	岡田 竹美	黒瀬 雅彦
安部 悦子	林 紀代子	千住 晋	田中 早苗
綿谷 信子	岩切 ひとみ	堂園 三智子	湧川 リエ子

大会参与

竹内 ヒロ子　　白井 カズ子

大会委員長

日本レディースバドミントン連盟	理事長	小国久美

大会副委員長

日本レディースバドミントン連盟	副理事長	香山百合子
日本レディースバドミントン連盟	副理事長	山口美法
日本レディースバドミントン連盟	副理事長	竹田由美子
和歌山県バドミントン協会	理事長	坂田智也
和歌山県レディースバドミントン連盟	理事長	早香代

大会委員

潮田玲子	井本直歩子	引頭麻実	大塚則子
小坂準記	竹内美奈子	宗景守	河合明弘
木下健児	三富久子	大関萬里子	日景真弓
髙田みゆき	齋藤ひとみ	松下玲子	山本晴世
山中佐知子	西岡都	木村ゆかり	綾野志穂
大上典子	永谷美穂	川島満	小原真澄
岡村敦子	岡田忍	加藤菜央子	児玉幸代
吹野由起子	日下光子	田中恵子	

競技役員

（順不同・敬称略）

レフェリー（競技役員長）

公益財団法人　日本バドミントン協会	レフェリー	髙崎　操

デピュティーレフェリー（総務部長）

日本レディースバドミントン連盟	常任理事	早香代
和歌山県レディースバドミントン連盟	理事長	

デピュティーレフェリー（競技審判部長）

公益財団法人　日本バドミントン協会	レフェリー	渡邉伸也

総務副部長

日本レディースバドミントン連盟	副理事長	山口美法
和歌山県バドミントン協会	副理事長	新井正明
和歌山県レディースバドミントン連盟	副理事長	川口有里

競技審判副部長

日本レディースバドミントン連盟	副理事長	香山百合子
和歌山県レディースバドミントン連盟	副理事長	森田昌代

総務委員

辻岡恵子	松本郁子	山本節子	栗原時美
山口美佐子	藪中由貴	伊都求実	岡本美晴

競技委員

井上浩伸	東　嘉紀	山田和将	近藤直紀
岸部　源	梅村亜津紗	西宮七音	山田泰子
西畑七絵	久保昌美	清野麻美	山部計美
西野美鈴	川村浩江	植田　悠	石田睦子
茶谷由紀子	村畑佳美	山田麻彩	川崎美穂
永井吏都	佐藤真理子	十倉朱美	畑　めぐみ
久保友美	的場友美	中村淳子	矢橋三起子
山下治代	大迫　委	山本美和	上園とも子
大亦順子	和田友梨	榎本小友理	荒木美紀
山下かおる			

審 判 員

松岡良英　高橋さゆり　廣瀬統　天野治
粟井直子　玉久保政巳　丸草智明　堀田真佑
吉田直斗　大和高成　青山好子　井上知香
村上潤子　石川亮子　藤原かつみ　米倉恵里
福田美絵　梅咲晴代　大和怜　明田亜希子
片岡ゆき　南里由美子　大森真紀　生賀智恵子
北角宏子　増山康子　辻野郁子　楠本直樹
吉村敏雄　希有ユミ子　南豊美　大久農美智子
津田照美　藤原瑠美　黒田さゆり　前川友紀子
岡崎千秋　榊原香代　渡部佳子　横山優子
上假屋淳一　宮崎千晶　乾智奈美　土岐宜子
荒尾真理子　大谷千秋　鳥井聡子　佐本知代
増田徳子　上田梅子　中里京子　中村淳子
田中瑞穂　河野真弓　有田恭子　平井泰子
加藤麻紀　山裾伸浩　松島洋介　森下潤也
福岡祥平　白水幹人　弓倉誠之　田中晴人
大谷璃輝　山角太佑　寺西頼太　植田隼治
吉川隆大　山東亮太　山東祐也　北本和輝
岩西俊幸　小坂雄史　土岐宗資　下澤なつみ
辻本美香　森崇　大西健太　奥田亮平
井邊崇晃　北原綾香　寺西梓　池澤沙幸
西村圭悟　平嶋陽介　櫻本昌義　寒川佐和子
杉本猛　浦野渉　若田美沙　朝稲拓弥
直川和樹　黒瀬尊敏　奥田健太　谷口宏紀
名倉帆南

補 助 員

和歌山県立星林高等学校　　和歌山県立向陽高等学校

広　　報

綾野幹　綾野堯

救　　護

中西千恵　瓜田優香

注意事項

1　競技審判上の注 意

(1) 競技規則・審判に関する事項

① 本大会は、(公財) 日本バドミントン協会令和7年度競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程並びに本連盟大会運営規程により行う。

② 予選リーグ及び決勝トーナメント準々決勝までの線審・得点表示員については、当該試合の各チームから線審1名・得点表示員1名を配置すること。競技3日目の準決勝・決勝は、主審・SJ・線審・得点表示員は本部が配置する。

③ 競技日程1日目、2日目において、タイムテーブル1段目の試合は8時40分までに各コートに、時間厳守で集合する。タイムテーブル2段目以降は、空いたコートに入る流し込み方式で進行する。
招集のアナウンス後、速やかに選手招集所へ集合する。

④ 競技進行上の都合により、同一対戦のマッチ(試合)を並行して行う場合もある。

⑤ 試合が連続する場合は、原則として試合終了後、10分以上の間隔を置き、次の試合を行う。

⑥ 各試合開始前に選手6名が揃わない場合は、そのチームは失格とする。

⑦ 試合中にベンチ入りできるのは、登録された監督、コーチ、マネージャー、選手に限る。

⑧ 競技中の服装は、(公財) 日本バドミントン協会大会運営規程第24条によるものとし、都道府県対抗においては都道府県名を、クラブ対抗においては都道府県名・クラブ名(選手名が記載されたものでも可)を明示する。本連盟大会運営規程により、上衣背面以外の部位へは製造メーカーロゴを除くいかなる表示も認めない。また、ゼッケンを着用する場合は四隅をピンで留めるものとし付け忘れのないよう注意する。

⑨ 全てのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

⑩ 各ゲーム間のインターバル並びに第1ゲームと第2ゲーム中及び第3ゲームでプレーヤーがエンドを替えた後のインターバルでは、どちらのサイドも同時に2人までコートに入ることができる。

⑪ シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ(試合) 中アドバイスを受けることができる。

⑫ 各コート両サイドにコーチ席1席を配置するが、その席に座るものはマッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこととする。監督・コーチはインターバル(競技規則第16条第2項参照)の間を除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ(試合) 中、プレーの妨げになるような言動を行ってはならない。
監督・コーチはチェンジエンズの都度、帯同するサイドのコーチ席へ移動するものとする。

⑬ マッチ(試合)中にケガや病気などが生じた場合には、主審の判断によりレフェリーを呼ぶ。また、レフェリーは、必要に応じて医療役員やその他の人をコートに呼び対処する。

⑭ 飲料、タオル等はバッグに入れ、コート脇の指定位置に置くこと。

⑮ マッチ(試合)中の水分補給、汗拭き、靴ひもの締め直し等プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得る。但し、素早いタオルの使用は認める。

⑯ クーラーボックスの競技場内の持ち込みは認めない。なお、試合中の氷嚢の使用は、インターバル時のみ認める。ただし、使用後の氷嚢は保冷バッグに収納し、ベンチにて保管する。

⑰ プレーヤーが、認められているインターバル以外でアドバイスを受けたり、体力や息切れの回復を図るための遅延行為を行ったりした場合、また、不品行や不快な振舞いを行った場合は厳正に対処する。

⑱ マッチ(試合)中のコートまたはコート周辺でプレーヤーの携帯電話が鳴ったときは、不品行な振舞いとみなす。

⑲ モバイル機器(iPad・携帯電話等)によるマッチ(試合) 中のアドバイス・コーチングを禁止する。

⑳ 全てのマッチ(試合)前に2分間の練習を行う。練習用シャトルは、各自で持参する。

㉑ その他は、監督会議における確認事項のとおりとする。

(2) 競技方法

① 予選リーグは、1ブロック3～4チームで行う。

- 都道府県対抗は、年齢別による3複（フリー、40歳以上、50歳以上）の対抗戦とする。
- クラブ対抗は、出場選手の合計年齢が240歳以上の3複（ペアの組合せは自由）による対抗戦とする。
- 一対戦において、同一選手が2複を兼ねて出場することはできない。
- 準決勝、決勝は第1ダブルス第2ダブルスを同時に開始し、第3ダブルスはどちらかが終わった時点で開始する。

② 決勝トーナメントは、都道府県対抗・クラブ対抗とも各ブロック1・2位のチームに出場権を与える。

③ 予選リーグにおいては3マッチ（試合）全て行うが、決勝トーナメントは2マッチ（試合）先取打ち切りとする。

④ 予選リーグにおいては勝敗決定後の選手変更を認める。但し、主審に申し出た上、相手チーム監督の了承を得なければならない。（先にメンバー変更を申し出たチームの当該試合は負けとする。）

⑤ 26日の決勝トーナメントは、基本1D、2Dを平行試合とする。

(3) 組合せ

◎ 組合せは、レフェリーもしくはデピュティーレフェリーの指示の下、主管団体役員が行う。

◎ 決勝トーナメントの組合せは非公開とし、レフェリーの判断で公開する。

① 予選リーグ

《都道府県対抗》

ア 第42回全日本レディースバドミントン選手権大会新潟県開催ベスト8をシードとし、異なるブロックに入れる。

イ 第42回全日本レディースバドミントン選手権大会新潟県開催と同じ対戦にならないよう配慮し、その他を振り分ける。地区ブロック内の対戦については2都道府県までは許容の範囲とする。

《クラブ対抗》

ア 第42回全日本レディースバドミントン選手権大会新潟県開催5～8位また第41回全日本レディースバドミントン選手権大会長崎県大会開催1～4位をシードとし、異なるブロックに入れる。

イ 第42回全日本レディースバドミントン選手権大会新潟県開催と同じ、もしくは同一県対戦にならないよう配慮し、その他を振り分ける。地区ブロック内の対戦については2都道府県までは許容の範囲とする。

② 決勝トーナメント

《都道府県対抗》

ベスト8は、そのブロック1位を8シードに配置する。（予選リーグの順位どおり）

《クラブ対抗》

シードブロックの1位を、順次シードの位置に配慮する。

③ 予選リーグでの順位決定方法

ア 勝数の優位により決定する。

イ アが同一の場合には、全試合での取得マッチ率の高いチームを上位とする。

ウ イが同一の場合には、全試合での取得ゲーム率の高いチームを上位とする。

エ ウが同一の場合には、全試合での取得ポイント率の高いチームを上位とする。

オ エが同一の場合には、次の方法で順位を決定する。

- 2チームの場合は、当該チーム間の勝敗により順位を決定する。
- 3チームの場合は、抽選により順位を決定する。

カ いかなる場合でも、順位決定のための再試合は行わない。

(4) オーダー提出

① 予選リーグと決勝トーナメント1回戦のオーダー用紙は監督会議資料に同封する。
決勝トーナメントのオーダー提出はアナウンスの指定時刻までに必ず提出する。
決勝トーナメント2回戦目以降のオーダー用紙は本部にて渡す。

② 競技日程各日におけるタイムテーブル1段目の試合(9:00開始の試合)のオーダー提出時刻は、下記のとおりとする。時間厳守で提出する。なお、タイムテーブル2段目以降の試合は空いたコートに入る流し込み方式で進行するので、オーダー提出のアナウンス後、速やかに提出する。
1日目　8:15
2日目　8:15
最終日　8:30

③ タイムテーブル2段目のオーダー提出は9:15までに提出する。

④ オーダー用紙への記入は必ず相違ないように記入し、切り離さずに持参する。また、本部にて確認するが、相違の場合は提出用を原本とみなす。

⑤ 決勝トーナメントのオーダー用紙には試合番号、対戦相手を必ず記入する。

2　監督、選手変更の確認

(1) 監督及び選手の変更は、監督・選手変更届用紙で提出する。

(2) 前記の変更届の受理は、監督会議開始前までとし、それ以降の変更は認めない。

3　その他

(1) 招集のアナウンスがあったら選手招集所に集合し、各会場の係員に従う。

(2) ゴミの処理については、各チームが責任を持って持ち帰る。

(3) アリーナ内での飲食は禁止とする。但し、競技中の水分補給については許可する。

(4) 観客席での置き引き・盗難が起こらないよう、各自責任を持って貴重品等の管理を行う。

(5) ビデオ撮影・携帯電話の充電について、体育館内全てのコンセントの使用を禁止する。

(6) 業者による写真撮影は行わないが、日本レディースバドミントン連盟総務部がホームページ掲載用のチーム写真等の撮影を行う。及び和歌山県レディースバドミントン連盟役員の撮影した写真等は関連ホームページ・SNS・報道機関に提供、公開されることがある。会場内でのフラッシュ撮影は禁止とする。

(7) 持参した県旗やチーム旗などを2F観客席に張る場合、ビッグホエールは本部上部以外と白地はエンドライン側以外とし、ビッグウエーブは観客席前以外許可する。

(8) 観客席の最前列は、ビッグホエール・ビッグウエーブ共に応援席とする。

(9) ビッグホエールの男子更衣室は、女子更衣室として使用できる。

(10) ビッグホエールとビッグウエーブ間の移動は、必ず下足に履き替えること。

(11) 大会受付(25日のみ)は、8:00～8:30までとする。

(12) 決勝トーナメント以降、ビッグホエール、ビッグウエーブ間の移動があるチームは、速やかに行うこと。

(13) 2025年全日本レディースバドミントン選手権大会資金集めTシャツ「きいちゃんTシャツ」は、当該大会記念Tシャツとしてベンチ、コーチ席着用可能とする。

第 43 回全日本レディースバドミントン選手権大会における
個人情報及び肖像権に関する取り扱い

１．参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

（１）大会プログラムに記載されます。

（２）競技会場内でアナウンスなどにより紹介されることがあります。

（３）競技会場内外の掲示板に掲載されることがあります。

２．競技結果（記録）等の取り扱い

（１）認められた報道機関により、新聞・雑誌及びホームページ等で公開されることがあります。

（２）大会プログラム記載の個人情報とともに、大会事務局が作成する大会報告書に掲載されます。

（３）優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

３．肖像権による取り扱い

（１）認められた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

（２）その他、日本レディースバドミントン連盟の許可にもとづき、記念写真等が関係者に販売されることがあります。

４．日本レディースバドミントン連盟としての対応について

（１）取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。

（２）参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。

（３）個人情報等の掲載または、公開等に関してのご質問は、日本レディースバドミントン連盟事務局までご連絡ください。

連絡・問い合わせ先
日本レディースバドミントン連盟
０７５－６９２－３４８３

大会日程

◆7月24日（木）　ダイワロイネットホテル和歌山

監督会議	受付	15:00～	4階（ブリエ）
	監督・選手変更届受付	15:30まで	〃
	開会	15:30	〃
開会式	受付	16:00～	4階（ブリエ）
	開会	16:30	〃
懇親会	受付	17:30～	4階（グラン）
	開会	18:00	〃

◆7月25日（金）◆7月26日（土）　和歌山ビッグホエール・ビッグウエーブ

大会受付（25日のみ）	8:00～8:30まで	和歌山ビッグホエール エントランスホール
タイムテーブル1段目オーダー提出	8:15まで	アリーナ本部席
競技開始（8:40コート集合）	9:00～	メインアリーナ
タイムテーブル2段目オーダー提出	9:15まで	アリーナ本部席

※　詳細はタイムテーブルによる

◆7月27日（日）　和歌山ビッグホエール

開場	8:00	ロビー（1階）
準決勝オーダー提出	8:30まで	アリーナ本部席
競技開始	9:00	メインアリーナ
決勝オーダー提出	準決勝終了後	アリーナ本部席
閉会式	競技終了後	メインアリーナ

タイムテーブル

都道府県対抗 41チーム(A~Kリーグ・78試合)
クラブ対抗 49チーム(L~Xリーグ・94試合)

※試合進行が遅れている場合は、試合を開く可能性があります。

1日目　7月25日（金）

和歌山ビッグホエール　＜都道府県対抗A~Kリーグ・クラブ対抗L~Oリーグ＞

試合開始時刻	コート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
9:00	**招集番号**	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**	**9**	**10**	**11**	**12**	**13**	**14**	**15**	**16**
	試合番号	A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	D-1	D-2	E-1	E-2	F-1	F-2	G-1	G-2	H-1	H-2
放送及び招集番号表示で招集	コート番号	流し込み方式のためコートは決まっていません															
	招集番号	**17**	**18**	**19**	**20**	**21**	**22**	**23**	**24**	**25**	**26**	**27**	**28**	**29**	**30**	**31**	**32**
	試合番号	I-1	J-1	K-1	L-1	L-2	M-1	M-2	N-1	N-2	O-1	O-2	A-3	A-4	B-3	B-4	C-3
	招集番号	**33**	**34**	**35**	**36**	**37**	**38**	**39**	**40**	**41**	**42**	**43**	**44**	**45**	**46**	**47**	**48**
	試合番号	C-4	D-3	D-4	E-3	E-4	F-3	F-4	G-3	G-4	H-3	H-4	I-2	J-2	K-2	L-3	L-4
	招集番号	**49**	**50**	**51**	**52**	**53**	**54**										
	試合番号	M-3	M-4	N-3	N-4	O-3	O-4										

和歌山ビッグウエーブ　＜クラブ対抗P~Xリーグ＞

試合開始時刻	コート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:00	**招集番号**	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**	**8**	**9**	**10**
	試合番号	P-1	P-2	Q-1	Q-2	R-1	R-2	S-1	S-2	T-1	T-2
放送及び招集番号表示で招集	コート番号	流し込み方式のためコートは決まっていません									
	招集番号	**11**	**12**	**13**	**14**	**15**	**16**	**17**	**18**	**19**	**20**
	試合番号	U-1	U-2	V-1	W-1	X-1	P-3	P-4	Q-3	Q-4	R-3
	招集番号	**21**	**22**	**23**	**24**	**25**	**26**	**27**	**28**	**29**	**30**
	試合番号	R-4	S-3	S-4	T-3	T-4	U-3	U-4	V-2	W-2	X-2

2日目　7月26日（土）

和歌山ビッグホエール　＜都道府県対抗A~Kリーグ・クラブ対抗L~Oリーグ/決勝トーナメント準々決勝まで＞

試合開始時刻	コート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
9:00	**招集番号**	**55**	**56**	**57**	**58**	**59**	**60**	**61**	**62**	**63**	**64**	**65**	**66**	**67**	**68**	**69**	**70**
	試合番号	A-5	A-6	B-5	B-6	C-5	C-6	D-5	D-6	E-5	E-6	F-5	F-6	G-5	G-6	H-5	H-6
放送及び招集番号表示で招集	コート番号	流し込み方式のためコートは決まっていません															
	招集番号	**71**	**72**	**73**	**74**	**75**	**76**	**77**	**78**	**79**	**80**	**81**	**82**		**83**		**84**
	試合番号	I-3	J-3	K-3	L-5	L-6	M-5	M-6	N-5	N-6	O-5	O-6	決-1		決-2		決-3
	招集番号		**85**		**86**		**87**		**88**		**89**		**90**		**91**		**92**
	試合番号		決-4		決-5		決-6		ｹ決-1		ｹ決-2		ｹ決-3		ｹ決-4		ｹ決-5
	招集番号		**93**		**94**		**95**		**96**		**97**		**98**		**99**		**100**
	試合番号		決-7		決-8		決-9		決-10		決-11		決-12		決-13		決-14
	招集番号		**101**		**102**		**103**		**104**		**105**		**106**		**107**		**108**
	試合番号		ｹ決-11		ｹ決-12		ｹ決-13		ｹ決-14		決-15		決-16		決-17		決-18
	招集番号		**109**		**110**												
	試合番号		ｹ決-19		ｹ決-20												

和歌山ビッグウエーブ　＜クラブ対抗P~Xリーグ/決勝トーナメント準々決勝まで＞

試合開始時刻	コート番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:00	**招集番号**	**31**	**32**	**33**	**34**	**35**	**36**	**37**	**38**	**39**	**40**
	試合番号	P-5	P-6	Q-5	Q-6	R-5	R-6	S-5	S-6	T-5	T-6
放送及び招集番号表示で招集	コート番号	流し込み方式のためコートは決まっていません									
	招集番号	**41**	**42**	**43**	**44**	**45**	**46**		**47**		**48**
	試合番号	U-5	U-6	V-3	W-3	X-3	ｹ決-6		ｹ決-7		ｹ決-8
	招集番号		**49**		**50**		**51**		**52**		**53**
	試合番号		ｹ決-9		ｹ決-10		ｹ決-15		ｹ決-16		ｹ決-17
	招集番号		**54**		**55**		**56**				
	試合番号		ｹ決-18		ｹ決-21		ｹ決-22				

3日目　7月27日（日）

和歌山ビッグホエール　＜都道府県対抗・クラブ対抗/決勝トーナメント準決勝・決勝＞

試合開始時刻	コート番号	1	2			3	4			5	6			7	8		
9:00	**試合番号**	都道府県対抗準決勝T-19				都道府県対抗準決勝T-20				クラブ対抗準決勝T-23				クラブ対抗準決勝T-24			
	試合番号	都道府県対抗決勝T-21								クラブ対抗決勝T-25							

都道府県対抗 A ブロック	福岡県	富山県	青森県	鹿児島県
福岡県		1	3	5
富山県			6	4
青森県				2
鹿児島県				

都道府県対抗 B ブロック	東京都	福島県	滋賀県	沖縄県
東京都		1	3	5
福島県			6	4
滋賀県				2
沖縄県				

都道府県対抗 C ブロック	愛知県	兵庫県	佐賀県	徳島県
愛知県		1	3	5
兵庫県			6	4
佐賀県				2
徳島県				

都道府県対抗 D ブロック	京都府	岡山県	高知県	秋田県
京都府		1	3	5
岡山県			6	4
高知県				2
秋田県				

都道府県対抗 E ブロック	福井県	奈良県	静岡県	茨城県
福井県		1	3	5
奈良県			6	4
静岡県				2
茨城県				

都道府県対抗 F ブロック	北海道	大阪府	栃木県	広島県
北海道		1	3	5
大阪府			6	4
栃木県				2
広島県				

都道府県対抗 G ブロック	新潟県	千葉県	和歌山県	香川県
新潟県		1	3	5
千葉県			6	4
和歌山県				2
香川県				

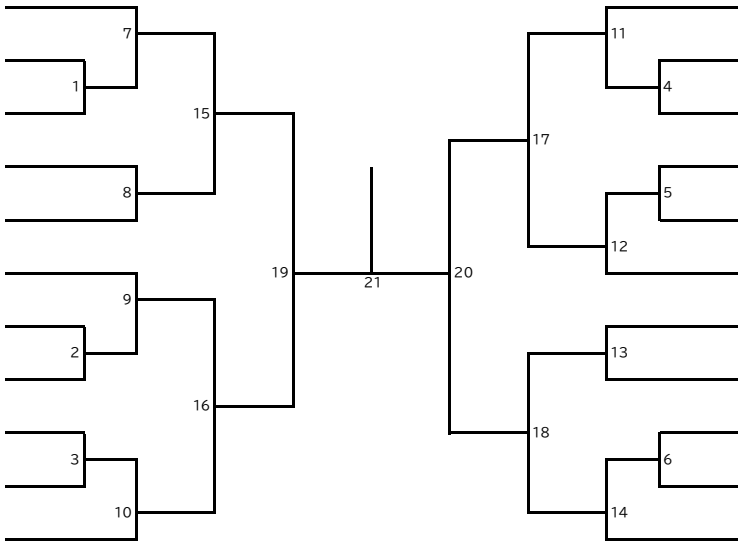
都道府県対抗 H ブロック	神奈川県	石川県	鳥取県	大分県
神奈川県		1	3	5
石川県			6	4
鳥取県				2
大分県				

都道府県対抗 Ｉ ブロック	熊本県	埼玉県	長野県
熊　本　県		1	3
埼　玉　県			2
長　野　県			

都道府県対抗 Ｊ ブロック	長崎県	群馬県	三重県
長　崎　県		1	3
群　馬　県			2
三　重　県			

都道府県対抗 Ｋ ブロック	岐阜県	山口県	山形県
岐　阜　県		1	3
山　口　県			2
山　形　県			

【 都道府県対抗:決勝トーナメント 】



都道府県対抗　【参加　41チーム】

1	北　海　道	
監　督	日　景　真　弓	59
コーチ		
マネージャー	髙　野　優　子	62
選手 1	長谷部　留　美	55
選手 2	高　橋　順　子	50
選手 3	山　際　美穂子	53
選手 4	亀　山　三枝子	46
選手 5	河　田　亜　胡	31
選手 6	日　景　真　弓	59
選手 7		
選手 8		
選手 9		

2	青　森　県	
監　督	小　野　むつ子	68
コーチ	松　浦　まち子	70
マネージャー	北　山　恵美子	39
選手 1	竹　内　智　咲	25
選手 2	北　山　恵美子	39
選手 3	高　村　光　子	64
選手 4	佐　藤　美佐子	61
選手 5	吉　崎　節　子	63
選手 6	松　浦　まち子	70
選手 7	北　野　沙　織	40
選手 8		
選手 9		

5	秋　田　県	
監　督	佐　藤　加　奈	29
コーチ		
マネージャー		
選手 1	佐　藤　加　奈	29
選手 2	益　子　楓　加	25
選手 3	鈴　木　姫　子	50
選手 4	秋　元　昭　子	57
選手 5	長　井　広　子	53
選手 6	羽　澤　潤　子	53
選手 7		
選手 8		
選手 9		

6	山　形　県	
監　督	板　垣　尚　美	62
コーチ	橋　本　ミサ子	78
マネージャー	沼　澤　宏　子	57
選手 1	川　又　眞由美	53
選手 2	板　垣　尚　美	62
選手 3	遠　藤　美代子	62
選手 4	登　坂　登志子	61
選手 5	髙　橋　幸　子	61
選手 6	沼　澤　宏　子	57
選手 7		
選手 8		
選手 9		

7	福　島　県	
監　督	永　井　香代子	72
コーチ	堀　江　典　子	74
マネージャー	髙　田　みゆき	66
選手 1	本　田　理　奈	33
選手 2	赤　澤　　心	32
選手 3	佐久間　純　子	49
選手 4	青　木　恵　美	48
選手 5	伊　藤　明　美	58
選手 6	太　田　洋　子	54
選手 7	堀　江　典　子	74
選手 8	髙　田　みゆき	66
選手 9		

8	茨　城　県	
監　督	齋　藤　ひとみ	67
コーチ	屋　代　広　子	66
マネージャー	神　永　春　美	63
選手 1	高　橋　小　恋	20
選手 2	山　重　千　夏	21
選手 3	岡　　夏　実	22
選手 4	黒　山　都喜子	49
選手 5	岡　部　玲　華	45
選手 6	根　本　慶　子	54
選手 7	下曽小川　裕起	57
選手 8	伊　室　佐知子	51
選手 9		

9	栃　木　県	
監　督	福　田　芳　子	64
コーチ	飯　田　一　美	61
マネージャー	浅　野　真　希	49
選手 1	齋　藤　尚　子	44
選手 2	田　野　加奈子	46
選手 3	坂　本　悦　子	53
選手 4	笹　井　美千恵	57
選手 5	渡　邉　多佳子	55
選手 6	飯　田　一　美	61
選手 7	福　田　芳　子	64
選手 8		
選手 9		

10	群　馬　県	
監　督	矢　島　とし子	68
コーチ	木　暮　英　代	63
マネージャー	小　林　一十美	61
選手 1	久　松　寿美玲	23
選手 2	斎　藤　憂　子	32
選手 3	金　澤　紗恵子	48
選手 4	稲　村　ひとみ	58
選手 5	寺　内　美　幸	52
選手 6	飯　島　波　江	52
選手 7	木　暮　英　代	63
選手 8		
選手 9		

11	埼　玉　県	
監　督	内　村　美智子	68
コーチ	奥　野　里　美	58
マネージャー	山　川　恭　子	63
選手 1	中　条　奈　那	28
選手 2	飯　田　瑞　季	25
選手 3	福　田　典　子	50
選手 4	森　川　純　子	47
選手 5	飯　田　真　依	49
選手 6	寺　田　理津子	51
選手 7	山　根　朋　子	51
選手 8	中　条　弥　生	53
選手 9		

都道府県対抗　【参加　41チーム】

12	千　葉　県	
監　督	大　竹　真　弓	64
コーチ	吉　田　千代子	70
マネージャー	鈴　木　富貴恵	64
選手 1	松　本　美　聡	32
選手 2	高　田　真　結	26
選手 3	鶴　岡　紗　奈	25
選手 4	澤　内　あゆみ	40
選手 5	関　根　尚　子	48
選手 6	吉　井　美　保	40
選手 7	三　宅　恵　美	54
選手 8	若　林　美　衣	53
選手 9	工　藤　利加子	54

13	東　京　都	
監　督	岡　村　敦　子	60
コーチ	高　崎　朋　子	55
マネージャー	深　見　妙　子	55
選手 1	福　島　早　希	24
選手 2	遠　藤　理　彩	24
選手 3	山　岸　優　香	26
選手 4	南　雲　亜　紀	48
選手 5	渡　邉　亜由美	46
選手 6	竹　内　　郁	46
選手 7	岩　井　直　子	52
選手 8	田　中　亜希子	52
選手 9	土　屋　展　子	55

14	神　奈　川　県	
監　督	塩　路　雅　子	71
コーチ	稲　葉　明　希	54
マネージャー		
選手 1	稲　葉　明　希	54
選手 2	後　藤　由　衣	43
選手 3	鴇　田　江利香	49
選手 4	深　澤　麻由美	48
選手 5	松　葉　敬　子	51
選手 6	安　田　朋　子	50
選手 7	山之口　志　保	41
選手 8	渡　辺　亜　衣	41
選手 9		

16	新　潟　県	
監　督	倉　島　政　子	56
コーチ	鈴　木　幸　恵	54
マネージャー	中　野　由美子	56
選手 1	種　岡　　遥	27
選手 2	山　田　真　未	26
選手 3	相　馬　孝　子	40
選手 4	村　田　千　明	40
選手 5	海　津　景　子	52
選手 6	田　中　香　織	52
選手 7	藤　田　倫　子	52
選手 8	鈴　木　幸　恵	54
選手 9	倉　島　政　子	56

17	長　野　県	
監　督	小　池　邦　子	82
コーチ	金　井　寿美江	62
マネージャー	丸　山　美代子	65
選手 1	宮　下　咲　乃	26
選手 2	酒　井　未　波	25
選手 3	石　川　雅　美	48
選手 4	保　科　美　晴	43
選手 5	横　山　祥　子	51
選手 6	樋　口　美恵子	55
選手 7	西　山　知　子	55
選手 8	酒　井　紀　子	54
選手 9		

18	富　山　県	
監　督	松　下　玲　子	56
コーチ	永　栄　律　子	57
マネージャー		
選手 1	宇　野　麻由美	54
選手 2	老　本　真理子	55
選手 3	澤　井　晃　子	47
選手 4	川　口　節　子	44
選手 5	永　栄　律　子	57
選手 6	松　下　玲　子	56
選手 7	玉　谷　奈津美	55
選手 8		
選手 9		

19	石　川　県	
監　督	宮　田　幸　恵	68
コーチ	堀　　純　子	74
マネージャー		
選手 1	池　田　歩　美	40
選手 2	越　野　佳　代	43
選手 3	曽　我　佳　織	45
選手 4	荒　木　美智代	56
選手 5	山　田　陽　子	60
選手 6	宮　田　幸　恵	68
選手 7	今　村　理　恵	43
選手 8		
選手 9		

20	福　井　県	
監　督	大　石　小夜子	69
コーチ	岡　田　　忍	58
マネージャー	徳　田　真　弓	46
選手 1	岡　田　　忍	58
選手 2	菱　谷　順　子	52
選手 3	渡　邉　冬　子	50
選手 4	徳　田　真　弓	46
選手 5	慶　秀　清　子	56
選手 6	内　藤　沙　織	41
選手 7	村　田　　恵	40
選手 8	河　野　優利愛	29
選手 9	大久保　陽　菜	25

21	静　岡　県	
監　督	山　田　文　香	64
コーチ	山　本　晴　世	60
マネージャー	小　林　朋　子	59
選手 1	久保田　羽　衣	29
選手 2	太田川　真　希	30
選手 3	窪　田　成　実	35
選手 4	橋　口　知　美	50
選手 5	橋　本　裕　美	50
選手 6	落　合　純　子	52
選手 7	小　林　昭　子	52
選手 8	臼　井　純　子	53
選手 9	宮　本　智　子	55

都道府県対抗　【参加　41チーム】

22	愛　知　県	
監　督	堀　尾　恵美子	71
コーチ	加　藤　菜央子	52
マネージャー	住　田　明　美	62
選手 1	高　井　亜季代	37
選手 2	木　村　陽　子	38
選手 3	谷　村　麻　美	36
選手 4	鎌　田　佐耶果	42
選手 5	高　間　麻　里	44
選手 6	遊　佐　真　弓	43
選手 7	百　丸　恭　子	50
選手 8	岩　間　和　美	51
選手 9	笠　井　恵　理	54

23	三　重　県	
監　督	前　田　仁　美	58
コーチ	中　西　亮　子	62
マネージャー	森　田　直　子	49
選手 1	栗　田　帆乃香	27
選手 2	山　北　美　月	28
選手 3	金　丸　あすみ	35
選手 4	榊　原　智　子	40
選手 5	川　嶋　亜矢子	41
選手 6	牧　　美　幸	45
選手 7	堀　内　佳　奈	50
選手 8	原　　直　美	51
選手 9	安　藤　温　子	54

24	岐　阜　県	
監　督	藤　原　陽　子	54
コーチ		
マネージャー		
選手 1	水　野　会　理	24
選手 2	有　尾　明　香	24
選手 3	畑　中　幸　枝	48
選手 4	福　原　志津子	50
選手 5	葛　西　深　雪	50
選手 6	髙　木　圭　子	52
選手 7	藤　原　陽　子	54
選手 8		
選手 9		

25	滋　賀　県	
監　督	友　永　恵　子	58
コーチ	宇　山　昌　子	69
マネージャー	徳　重　和　代	63
選手 1	大　川　弘　美	26
選手 2	池　田　真　帆	27
選手 3	富　樫　友　美	40
選手 4	井　上　絵　理	45
選手 5	井　上　十志子	50
選手 6	陸　川　　恵	52
選手 7	山　田　紀　子	54
選手 8		
選手 9		

26	京　都　府	
監　督	勝　間　　恵	62
コーチ	蔵　田　尚　子	46
マネージャー	足　立　覚津美	77
選手 1	豊　田　美　咲	25
選手 2	辻　　陽　子	43
選手 3	高　木　　泉	47
選手 4	松　山　純　子	49
選手 5	徳　本　直　子	52
選手 6	堀　岡　佐和子	54
選手 7	関　　円	51
選手 8	平　工　安佳里	29
選手 9	中　山　巴　那	22

27	大　阪　府	
監　督	酒　井　素　子	61
コーチ	永　谷　美　穂	63
マネージャー	鷲　見　仁　美	62
選手 1	武　藤　夏　海	24
選手 2	髙　森　明　里	34
選手 3	明　地　七　海	24
選手 4	濱　上　由　紀	44
選手 5	御　前　美　希	43
選手 6	岩　元　悠　子	41
選手 7	岡　田　順　子	50
選手 8	山　内　菊　子	54
選手 9	栗　栖　真　弓	51

28	兵　庫　県	
監　督	大　東　恵里子	61
コーチ	畑　末　絵理香	50
マネージャー		
選手 1	石　倉　みなみ	28
選手 2	竹　藤　華　梨	32
選手 3	川　口　しのぶ	40
選手 4	箱　崎　裕　子	43
選手 5	進　藤　通　子	50
選手 6	畑　末　絵理香	50
選手 7	末　富　麻　里	51
選手 8	中　島　裕　記	53
選手 9	櫻　井　悦　子	53

29	奈　良　県	
監　督	児　玉　幸　代	64
コーチ	山　本　邦　子	67
マネージャー	吉　田　昌　子	65
選手 1	中　西　未　来	29
選手 2	宮　本　千那留	29
選手 3	山　形　瑞　穂	29
選手 4	中　馬　ま　り	47
選手 5	西　正　百　誉	48
選手 6	佐久間　貴　子	52
選手 7	松　尾　智　子	52
選手 8	外　川　　香	53
選手 9		

30	和　歌　山　県	
監　督	早　　香　代	55
コーチ	森　田　昌　代	55
マネージャー	辻　岡　恵　子	64
選手 1	森　　美　江	31
選手 2	小　口　晃　佳	35
選手 3	今　井　智栄子	47
選手 4	水　野　智　子	47
選手 5	伊　藤　栄　美	54
選手 6	杉　山　陽　子	50
選手 7	山　田　麻　彩	30
選手 8	川　口　有　里	53
選手 9		

都道府県対抗　【参加　41チーム】

31	鳥　取　県	
監　督	吹　野　由起子	60
コーチ	高　岡　郷　子	64
マネージャー	石　田　美佐子	65
選手 1	中　尾　真亜理	32
選手 2	橋　尾　佳　那	23
選手 3	井　上　阿佑美	47
選手 4	松　本　直　子	50
選手 5	中　西　雅　代	52
選手 6	梅　實　京　子	50
選手 7	坪　井　雅　子	58
選手 8	渡　辺　奈穂子	57
選手 9	吹　野　由起子	60

33	岡　山　県	
監　督	高　橋　綾　子	49
コーチ		
マネージャー	治　部　美智子	52
選手 1	山　下　良　依	55
選手 2	仁　後　清　美	53
選手 3	井　手　久　恵	51
選手 4	高　橋　綾　子	49
選手 5	藤　原　さと子	44
選手 6	宗　近　奈々美	25
選手 7	石　井　祐　葵	25
選手 8	和　田　尚　子	25
選手 9	中　藤　　翼	19

34	広　島　県	
監　督	日野石　智　子	48
コーチ	松　原　春　美	67
マネージャー	三　宅　かおり	54
選手 1	井　下　由紀子	63
選手 2	田　渕　雪　江	63
選手 3	村　上　　恵	48
選手 4	日野石　智　子	48
選手 5	内　部　京　子	42
選手 6	梶　川　寿　子	42
選手 7	中　丸　　凜	23
選手 8	川　地　裕　美	42
選手 9	彦　田　美　穂	57

35	山　口　県	
監　督	山　中　佐知子	59
コーチ	久　次　由貴子	59
マネージャー		
選手 1	田　中　琴裕幸	32
選手 2	河　村　美　咲	32
選手 3	森　重　加奈子	41
選手 4	田　代　妙　子	48
選手 5	吉　川　静　香	50
選手 6	酒　井　和　江	50
選手 7	杉　原　加寿子	53
選手 8	久　次　由貴子	59
選手 9		

36	香　川　県	
監　督	東　条　美　希	56
コーチ	東　条　フミ子	82
マネージャー	安　藤　博　子	73
選手 1	木　場　鈴　代	43
選手 2	三　松　直　美	46
選手 3	島　田　三貴子	51
選手 4	藤　田　容　子	50
選手 5	武　田　華　澄	34
選手 6	宮　本　花　梨	27
選手 7	東　条　美　希	56
選手 8		
選手 9		

37	徳　島　県	
監　督	福　見　さよみ	64
コーチ	平　岡　友　望	33
マネージャー		
選手 1	井　口　　憧	34
選手 2	平　岡　友　望	33
選手 3	西　村　奈　月	45
選手 4	森　内　和　子	49
選手 5	尾　上　晶　子	54
選手 6	中　増　里　保	50
選手 7	福　見　さよみ	64
選手 8		
選手 9		

39	高　知　県	
監　督	氏　原　有　子	69
コーチ	市　川　治　代	61
マネージャー	杉　山　加奈子	66
選手 1	高　松　一　奈	25
選手 2	柳　　萌	27
選手 3	國　廣　千　春	48
選手 4	田　中　舞　子	49
選手 5	竹　﨑　摩里子	53
選手 6	真　鍋　美恵子	55
選手 7	市　川　治　代	61
選手 8	杉　山　加奈子	66
選手 9	土　居　迪　子	46

40	福　岡　県	
監　督	安　部　悦　子	75
コーチ	田　中　恵　子	62
マネージャー	片　平　美津子	64
選手 1	阿久根　恭　子	58
選手 2	松　山　裕　子	56
選手 3	入　沢　智　美	54
選手 4	中　村　明　美	50
選手 5	吉　川　美　穂	45
選手 6	河　津　美　代	43
選手 7	原　　智　美	37
選手 8	若　林　杏　佳	28
選手 9	川　野　楓　華	19

41	佐　賀　県	
監　督	川　原　敬　子	58
コーチ	富　崎　早　苗	46
マネージャー		
選手 1	馬　渡　明　季	30
選手 2	友　田　　茜	26
選手 3	富　崎　早　苗	46
選手 4	横　山　亨　子	47
選手 5	川　原　敬　子	58
選手 6	古　賀　貴　子	53
選手 7		
選手 8		
選手 9		

都道府県対抗　【参加　41チーム】

42	長崎県	
監督	本山 かおり	53
コーチ	小田代 ルミ	48
マネージャー		
選手 1	高月 美羽	23
選手 2	中村 琳音	23
選手 3	小田代 ルミ	48
選手 4	矢野 京子	45
選手 5	植田 和美	52
選手 6	本山 かおり	53
選手 7	松藤 太洋子	63
選手 8		
選手 9		

43	熊本県	
監督	田中 早苗	69
コーチ	志垣 たえ子	70
マネージャー	後藤 利子	52
選手 1	木下 八枝子	55
選手 2	岡部 真由美	52
選手 3	林 小巻	49
選手 4	橋本 二美可	47
選手 5	中島 暁子	47
選手 6	藤本 榛香	27
選手 7	増永 優香	25
選手 8	太田 亜矢子	45
選手 9	権藤 麻衣子	56

44	大分県	
監督	野上 明美	69
コーチ		
マネージャー		
選手 1	野上 明美	69
選手 2	秦 志津	56
選手 3	山田 由加	53
選手 4	小野 美智代	49
選手 5	若林 文恵	46
選手 6	藤原 鈴	23
選手 7	古長 恵美	36
選手 8		
選手 9		

46	鹿児島県	
監督	山崎 美香代	62
コーチ		
マネージャー		
選手 1	福永 美由紀	35
選手 2	原之園 夏海	32
選手 3	松下 佳代	42
選手 4	長沼 千夏	46
選手 5	重野 三代子	59
選手 6	中原 美貴	53
選手 7	山崎 美香代	62
選手 8		
選手 9		

47	沖縄県	
監督	新垣 ゆかり	50
コーチ	伊敷 朋子	52
マネージャー	大保 弥生	48
選手 1	新垣 ゆかり	50
選手 2	伊敷 朋子	52
選手 3	稲垣 美奈子	53
選手 4	大保 弥生	48
選手 5	野原 由江	42
選手 6	堀 宏恵	42
選手 7	松田 栄好	39
選手 8	幸地 春奈	33
選手 9		

クラブ対抗 L ブロック	ティンカーベル	えとらんぜ	秋田クラブM	E･O･J･P
ティンカーベル（神奈川県）		1	3	5
えとらんぜ（鳥取県）			6	4
秋田クラブM（秋田県）				2
E･O･J･P（滋賀県）				

クラブ対抗 M ブロック	春円クラブ	レディース宮崎	みとクラブ	松山レディース
春円クラブ（奈良県）		1	3	5
レディース宮崎（宮崎県）			6	4
みとクラブ（茨城県）				2
松山レディース（愛媛県）				

クラブ対抗 N ブロック	宝　塚	水　鳥	シルキー	前橋レディース
宝　塚（兵庫県）		1	3	5
水　鳥（富山県）			6	4
シルキー（東京都）				2
前橋レディース（群馬県）				

クラブ対抗 O ブロック	岡崎フェニックス	宗方クラブ	桃太郎本舗	我孫子コスモス
岡崎フェニックス（愛知県）		1	3	5
宗方クラブ（大分県）			6	4
桃太郎本舗（岡山県）				2
我孫子コスモス（千葉県）				

クラブ対抗 P ブロック	ソアークラブ	AYAGAWA	八千代	松江レディース
ソアークラブ（岐阜県）		1	3	5
AYAGAWA（香川県）			6	4
八千代（千葉県）				2
松江レディース（島根県）				

クラブ対抗 Q ブロック	岩見沢ドルフィン	調布エレガンス	キララ	ママシャトル
岩見沢ドルフィン（北海道）		1	3	5
調布エレガンス（東京都）			6	4
キララ（和歌山県）				2
ママシャトル（徳島県）				

クラブ対抗 R ブロック	いわきレディース	鴨谷クラブ	TSUBASA	宇部シャトルズ
いわきレディース（福島県）		1	3	5
鴨谷クラブ（大阪府）			6	4
TSUBASA（神奈川県）				2
宇部シャトルズ（山口県）				

クラブ対抗 S ブロック	りんどう	所沢木曜会	水鳥会	フレンドリークラブ
りんどう（長野県）		1	3	5
所沢木曜会（埼玉県）			6	4
水鳥会（佐賀県）				2
フレンドリークラブ（大阪府）				

クラブ対抗 T ブロック	フリーバード	ミ ン ト	ビッグビーンズ	cosmos
フリーバード（福岡県）		1	3	5
ミ ン ト（和歌山県）			6	4
ビッグビーンズ（神奈川県）				2
cosmos（新潟県）				

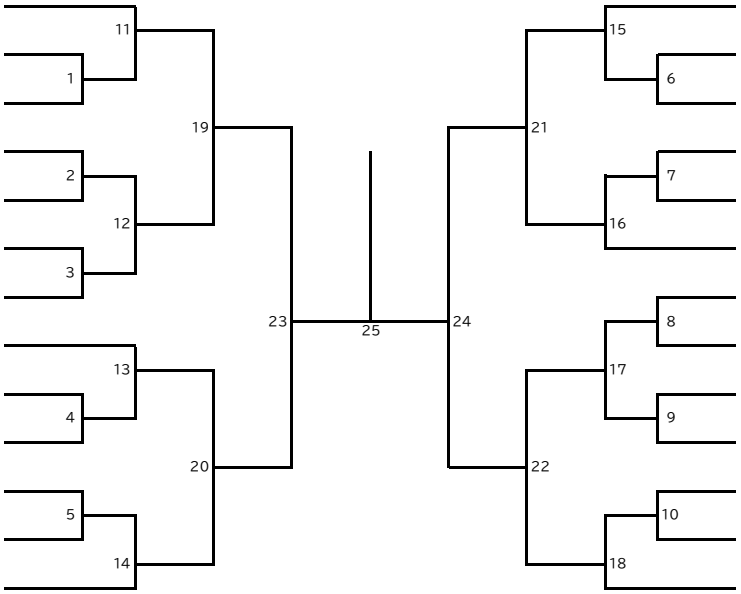
クラブ対抗 U ブロック	Shot'04	プリマドンナ	大村パール	高嶺クラブ
Shot'04（千葉県）		1	3	5
プリマドンナ（静岡県）			6	4
大村パール（長崎県）				2
高嶺クラブ（大阪府）				

クラブ対抗 V ブロック	しもやまと	オ リ ー ブ	豊　　田
しもやまと（福岡県）		1	3
オ リ ー ブ（東京都）			2
豊　　田（愛知県）			

クラブ対抗 W ブロック	CHISATO	いちごハウス	ベルクライン
CHISATO（三重県）		1	3
いちごハウス（京都府）			2
ベルクライン（栃木県）			

クラブ対抗 X ブロック	大宮グレース	広島エコークラブ	ミルキーズ
大宮グレース（埼玉県）		1	3
広島エコークラブ（広島県）			2
ミルキーズ（京都府）			

【 クラブ対抗:決勝トーナメント 】



クラブ対抗　【参加　49チーム】

北海道	岩見沢ドルフィン	
監　督	川　島　　満	57
コーチ	高　橋　美　保	69
マネージャー		
選手 1	日　浦　幾久代	72
選手 2	古　杉　ひとみ	63
選手 3	齋　藤　千　春	60
選手 4	小　西　る　み	52
選手 5	目　崎　美　穂	50
選手 6	斉　藤　明　子	49
選手 7	東　家　真　衣	38
選手 8		
選手 9		

秋田県	秋田クラブM	
監　督	三　浦　真由美	61
コーチ		
マネージャー		
選手 1	加　藤　光　子	67
選手 2	齊　藤　留美子	61
選手 3	三　浦　真由美	61
選手 4	大　塚　和香子	67
選手 5	鈴　木　孝　子	54
選手 6	湊　屋　桂　子	54
選手 7		
選手 8		
選手 9		

福島県	いわきレディース	
監　督	鈴　木　エ　ミ	52
コーチ	大　木　弘　美	63
マネージャー	草　野　弘　江	57
選手 1	大　木　弘　美	63
選手 2	鈴　木　恵美子	56
選手 3	草　野　弘　江	57
選手 4	鈴　木　エ　ミ	52
選手 5	正　木　恵美子	48
選手 6	吉　田　梨華子	29
選手 7	鈴　木　史　江	44
選手 8	山野辺　伸　子	67
選手 9		

茨城県	みとクラブ	
監　督	浅　井　綾　子	50
コーチ	大　山　亜希子	55
マネージャー	岡　部　弘　子	53
選手 1	山　内　こずえ	37
選手 2	小　林　紀　子	40
選手 3	羽　鳥　幸　恵	52
選手 4	髙　橋　恵美子	54
選手 5	宍　戸　朋　子	54
選手 6	小　野　恵美子	58
選手 7	柳　橋　千恵子	60
選手 8	滑　川　政　江	64
選手 9	兼　子　貴　子	66

栃木県	ベルクライン	
監　督	尾　田　勝　美	53
コーチ	吉　田　千　賀	54
マネージャー	池　澤　悦　子	85
選手 1	吉　田　千　賀	54
選手 2	三　浦　真由美	54
選手 3	尾　田　勝　美	53
選手 4	髙　橋　真由美	52
選手 5	原　口　幸　子	52
選手 6	佐　藤　　幸	38
選手 7	宮　崎　利　子	70
選手 8	池　澤　悦　子	85
選手 9		

群馬県	前橋レディース	
監　督	小　林　麻理子	60
コーチ	鈴　木　かおり	60
マネージャー	松　村　紀　子	60
選手 1	小　林　麻理子	60
選手 2	鈴　木　かおり	60
選手 3	松　村　紀　子	60
選手 4	小野里　こずえ	57
選手 5	花　井　　愛	58
選手 6	沖　津　美　幸	43
選手 7		
選手 8		
選手 9		

埼玉県	所沢木曜会	
監　督	寺　島　和　子	71
コーチ	佐　伯　恵　子	64
マネージャー	佐　竹　陽　子	51
選手 1	阿　部　幸　恵	65
選手 2	礒　　昌　代	62
選手 3	山　本　伊津子	62
選手 4	佐　藤　万　喜	60
選手 5	小　山　節　子	60
選手 6	青　木　広路美	55
選手 7	小　川　千　冬	54
選手 8	富　澤　真　梨	42
選手 9	大　峰　由　美	38

埼玉県	大宮グレース	
監　督	高　橋　洋　子	72
コーチ	大　桃　典　子	55
マネージャー	風　間　文　枝	57
選手 1	荒　川　美佐子	56
選手 2	保　科　文　子	55
選手 3	海老名　葉　子	52
選手 4	岡　安　三　八	51
選手 5	中　岡　美　恵	50
選手 6	和　田　照　代	45
選手 7	鈴　木　恵　美	49
選手 8		
選手 9		

千葉県	Shot'04	
監　督	大　澤　玲　子	49
コーチ	菊　池　浜　子	67
マネージャー	冨　張　千　恵	54
選手 1	真　鍋　絹　子	75
選手 2	成　瀬　康　子	65
選手 3	小　松　尚　美	59
選手 4	中　村　あゆみ	59
選手 5	別　府　郁　代	54
選手 6	浅　野　由　香	53
選手 7	柏　原　敦　子	51
選手 8	澤　田　麻　貴	51
選手 9	佐　藤　麻　子	35

クラブ対抗　【参加　49チーム】

千葉県	我孫子コスモス	
監　督	松　本　由　美	49
コーチ	谷　口　直　子	55
マネージャー	後　藤　晴　美	53
選手 1	鴨　木　真　澄	73
選手 2	染　谷　和　子	66
選手 3	大　部　麻維子	58
選手 4	中　山　幸　子	56
選手 5	園　田　理恵子	53
選手 6	小　澤　かおり	50
選手 7	内　田　京　子	50
選手 8	荒　井　芳　恵	46
選手 9		

千葉県	八　千　代	
監　督	畑　中　　薫	59
コーチ	藤　澤　直　子	57
マネージャー	坂　巻　和　代	55
選手 1	伊　藤　友　美	53
選手 2	伊　藤　理　加	50
選手 3	井　原　清　美	61
選手 4	大　高　絵　美	43
選手 5	押　野　典　子	53
選手 6	橋　本　美　里	50
選手 7	森　　由紀子	54
選手 8	山　田　由紀子	64
選手 9		

東京都	シルキー	
監　督	木　城　桂　子	64
コーチ	入　山　恵美子	53
マネージャー	生　田　智　可	48
選手 1	田　中　洋　子	66
選手 2	宮　入　典　子	66
選手 3	佐　藤　衣里子	63
選手 4	佐　藤　紀　子	62
選手 5	髙　橋　行　子	63
選手 6	猪　股　真夕美	53
選手 7	小　向　有実子	47
選手 8	鈴　木　荘　子	49
選手 9	筒　井　美　和	41

東京都	オリーブ	
監　督	髙　橋　公　子	65
コーチ	野　原　真奈美	60
マネージャー	福　島　美　紀	48
選手 1	近　藤　智　子	62
選手 2	安　藤　明　美	62
選手 3	鈴　木　享　子	60
選手 4	川　口　亜矢子	53
選手 5	大　楯　亜貴子	52
選手 6	服　部　直　子	52
選手 7	井　田　幸　子	48
選手 8	福　島　美　紀	48
選手 9	髙　橋　公　子	65

東京都	調布エレガンス	
監　督	宮　崎　美江子	73
コーチ	宮　川　美恵子	72
マネージャー	松　﨑　久美江	57
選手 1	井　上　伸　子	62
選手 2	上　田　俊　恵	57
選手 3	河　野　　環	57
選手 4	南　川　恭　子	49
選手 5	宮　川　恵　子	56
選手 6	角　野　知　子	46
選手 7	沖　田　美絵子	51
選手 8	原　田　真理子	50
選手 9	松　﨑　未　知	24

神奈川県	ビッグビーンズ	
監　督	五十嵐　明　美	68
コーチ		
マネージャー		
選手 1	伊　藤　深　雪	53
選手 2	上　杉　由　華	50
選手 3	黒　岩　さおり	60
選手 4	富　岡　智　子	45
選手 5	西　脇　志　野	56
選手 6	播　川　加奈子	46
選手 7	小　川　能　子	66
選手 8	藤　田　美奈子	54
選手 9	五十嵐　明　美	68

神奈川県	ティンカーベル	
監　督	塚　本　明　美	58
コーチ	金　野　由　香	53
マネージャー		
選手 1	上　原　かおり	54
選手 2	木　村　真莉子	41
選手 3	金　野　由　香	53
選手 4	鈴　野　さやか	39
選手 5	竹　内　薫　子	51
選手 6	西　村　弥　生	46
選手 7	塚　本　明　美	58
選手 8	堀　内　信　代	55
選手 9		

神奈川県	TSUBASA	
監　督	黒　川　寛　子	62
コーチ	今　尾　みゆき	56
マネージャー	小　畑　雅　子	53
選手 1	木根渕　康　代	58
選手 2	清　見　久　美	51
選手 3	貞　方　さゆり	54
選手 4	柴　山　祐　子	55
選手 5	内　藤　あ　い	52
選手 6	波多江　祐　子	64
選手 7	深　山　啓　子	56
選手 8	八　代　淑　恵	55
選手 9		

新潟県	cosmos	
監　督	野　本　早　苗	61
コーチ	近　藤　香代子	58
マネージャー	石　川　昌　美	61
選手 1	野　本　早　苗	61
選手 2	近　藤　香代子	58
選手 3	石　川　昌　美	61
選手 4	永　井　明　子	51
選手 5	佐久間　京　子	50
選手 6	林　　智　尋	39
選手 7		
選手 8		
選手 9		

クラブ対抗　【参加　49チーム】

長野県	りんどう	
監　督	大　塚　真　理	64
コーチ	伊　藤　良　子	81
マネージャー	松　山　八重子	69
選手 1	北　澤　未　来	25
選手 2	下　島　　史	34
選手 3	田　中　みどり	47
選手 4	倉　橋　郁　恵	46
選手 5	滝　澤　晴　美	51
選手 6	有　賀　佳代子	54
選手 7	大　塚　真　理	64
選手 8	福　島　弘　子	64
選手 9	大　槻　美　和	48

富山県	水　　鳥	
監　督	岡　田　啓　子	76
コーチ		
マネージャー	桐　渓　俊　代	58
選手 1	小　泉　久美子	78
選手 2	岡　田　啓　子	76
選手 3	日　影　真佐代	64
選手 4	桐　渓　俊　代	58
選手 5	山　本　祥　子	58
選手 6	問　谷　葉　子	56
選手 7	郭　　妙　旭	53
選手 8	佐々木　沙緒里	47
選手 9		

静岡県	プリマドンナ	
監　督	可　児　恵　美	58
コーチ	木　下　有　里	53
マネージャー	遠　藤　恵　子	57
選手 1	中　島　真　弓	62
選手 2	可　児　恵　美	58
選手 3	遠　藤　恵　子	57
選手 4	大　塚　智恵子	56
選手 5	木　下　有　里	53
選手 6	矢　嶋　　香	44
選手 7	野　添　亜　美	27
選手 8		
選手 9		

愛知県	豊　　田	
監　督	鈴　木　昌　子	64
コーチ		
マネージャー	水　野　潤　子	49
選手 1	近　藤　　綾	52
選手 2	金　本　敦　子	49
選手 3	永　田　久美子	59
選手 4	加　藤　有　里	57
選手 5	富　永　　葵	26
選手 6	當　眞　春　希	40
選手 7	梅　田　けい子	63
選手 8	吉　田　理　絵	49
選手 9	岩　坂　照　恵	52

愛知県	岡崎フェニックス	
監　督	山　西　智佳子	64
コーチ	鳥　居　亜矢子	47
マネージャー	橋　本　ナツエ	59
選手 1	吉　永　　香	62
選手 2	森　田　華奈恵	60
選手 3	軒　村　律　子	58
選手 4	加　納　千都世	57
選手 5	野　田　美奈子	53
選手 6	市　川　冬　美	52
選手 7	三　輪　さゆり	51
選手 8	澤　木　亜希子	48
選手 9		

三重県	CHISATO	
監　督	齋　藤　ゆ　か	61
コーチ	青　山　早　苗	61
マネージャー	吉　岡　美　帆	59
選手 1	乾　　恵　子	68
選手 2	小　野　ちづ子	62
選手 3	川　合　由紀子	55
選手 4	楠　井　知　子	52
選手 5	山　本　安　奈	52
選手 6	堤　　智　美	51
選手 7	山　本　美　佐	49
選手 8	樋　口　有　紀	37
選手 9		

岐阜県	ソアークラブ	
監　督	多　田　智　美	65
コーチ		
マネージャー		
選手 1	畝　　あゆみ	35
選手 2	池　口　弥　生	38
選手 3	中　野　絵　美	43
選手 4	三　輪　めぐみ	50
選手 5	中　村　ゆかり	52
選手 6	塚　本　千世登	60
選手 7	藤　村　洋　子	63
選手 8	多　田　智　美	65
選手 9		

滋賀県	E・O・J・P	
監　督	吉　﨑　美智子	64
コーチ		
マネージャー	江　上　陽　子	63
選手 1	亀　本　とし子	66
選手 2	冨　岡　祐　子	59
選手 3	小　林　恵　里	55
選手 4	浜　田　　華	52
選手 5	馬　　呉　英	51
選手 6	城　野　麻　里	46
選手 7	松　下　淳　子	39
選手 8	東　野　雅　美	35
選手 9		

京都府	ミルキーズ	
監　督	坂　本　雅　子	63
コーチ		
マネージャー		
選手 1	坂　本　雅　子	63
選手 2	星　野　享　子	65
選手 3	天　野　　静	65
選手 4	髙　矢　順　子	65
選手 5	松　井　美智子	63
選手 6	津　田　真樹子	52
選手 7	峯　　薫	43
選手 8	山　本　明　美	54
選手 9	並　河　理恵子	45

クラブ対抗　【参加　49チーム】

京都府	いちごハウス	
監　督	谷　田　由　美	60
コーチ		
マネージャー		
選手 1	谷　田　由　美	60
選手 2	河　田　加　代	61
選手 3	布　柴　仁　美	54
選手 4	給　分　さゆき	53
選手 5	福　田　純　子	44
選手 6	早　川　裕紀子	49
選手 7	二　歩　り　ゆ	50
選手 8	玉　井　千賀子	53
選手 9	小　西　利　子	65

大阪府	鴨谷クラブ	
監　督	松　本　美　和	62
コーチ	西　垣　さやか	45
マネージャー	竹　内　充　子	59
選手 1	人　見　恵　子	61
選手 2	小　嶋　芳　恵	55
選手 3	小　島　淳　子	53
選手 4	池　田　　操	52
選手 5	山　北　千恵子	67
選手 6	河　合　孝　子	58
選手 7	森　山　滋　美	56
選手 8	水　谷　智　美	45
選手 9	松　浦　尚　美	56

大阪府	高嶺クラブ	
監　督	小和田　万名美	51
コーチ	藤　井　裕加子	50
マネージャー	藤　井　五　月	74
選手 1	芹　澤　眞　澄	59
選手 2	石　本　志　子	60
選手 3	梅　田　裕　子	55
選手 4	青　木　紀　子	55
選手 5	福　路　紀代子	57
選手 6	石　井　淑　恵	46
選手 7	和　泉　陽　子	47
選手 8	山　口　みゆき	55
選手 9	住　久　愛　乃	33

大阪府	フレンドリークラブ	
監　督	井　上　みどり	68
コーチ	的　場　由　美	50
マネージャー	山　原　あゆみ	48
選手 1	水　谷　幸　子	64
選手 2	村　上　ゆかり	62
選手 3	川　畑　美智子	46
選手 4	磯　本　晶　子	49
選手 5	大　村　志　信	49
選手 6	青　木　幸　代	51
選手 7	波　戸　弘　美	51
選手 8	安　藤　恵　子	50
選手 9	矢　島　美　佳	54

兵庫県	宝　　塚	
監　督	村　田　めぐみ	54
コーチ	安　井　香　苗	62
マネージャー	内　海　貴　子	51
選手 1	諸　岡　菊　子	55
選手 2	新　名　順　子	55
選手 3	服　部　真理子	52
選手 4	村　田　めぐみ	54
選手 5	藤　原　福　美	50
選手 6	森　川　麻　衣	46
選手 7	望　月　由　美	50
選手 8	久保田　あかね	55
選手 9	川　口　圭　子	54

奈良県	春円クラブ	
監　督	今　堀　啓　子	45
コーチ	笹　内　慶　子	62
マネージャー	脇　　有希子	43
選手 1	礒　﨑　真木子	45
選手 2	今　井　海　音	54
選手 3	川　村　小百合	45
選手 4	岸　本　千　恵	51
選手 5	北　代　美　紀	52
選手 6	木見谷　　都	48
選手 7	坂　尾　美　奈	44
選手 8	古　田　栄　子	53
選手 9	矢　倉　幸　恵	52

和歌山県	ミ　ン　ト	
監　督	増　田　徳　子	47
コーチ	田　中　瑞　穂	47
マネージャー	的　場　友　美	35
選手 1	前　田　敦　子	58
選手 2	藤　野　佐和子	55
選手 3	木　下　奈　美	37
選手 4	溝　端　寿　賀	56
選手 5	山　本　智　世	55
選手 6	山　角　聖　美	60
選手 7	畑　　めぐみ	53
選手 8	久　保　友　美	51
選手 9	十　倉　朱　美	58

和歌山県	キ　ラ　ラ	
監　督	茶　谷　由紀子	58
コーチ	村　畑　佳　美	42
マネージャー	荒　尾　真理子	49
選手 1	井　上　昌　美	48
選手 2	中　平　彩　香	45
選手 3	西　川　理　恵	53
選手 4	西　口　真　美	55
選手 5	宮　野　泰　子	52
選手 6	稲　垣　雅　子	47
選手 7	川　崎　美　穂	47
選手 8		
選手 9		

鳥取県	えとらんぜ	
監　督	吉　野　由美子	73
コーチ	安　部　英　子	68
マネージャー		
選手 1	河　合　佳世子	66
選手 2	植　田　睦　美	66
選手 3	稲　田　阿　美	66
選手 4	南　波　智　子	62
選手 5	渡　辺　こずえ	63
選手 6	秋　田　直　美	68
選手 7	石　原　久美子	68
選手 8	吉　野　由美子	73
選手 9	安　部　英　子	68

クラブ対抗　【参加　49チーム】

島根県	松江レディース	
監　督	小　西　由　美	57
コーチ	川　本　智　美	57
マネージャー	野　田　裕　美	62
選手 1	小　西　由　美	57
選手 2	川　本　智　美	57
選手 3	三　原　美由紀	57
選手 4	光　田　睦　子	56
選手 5	矢　引　志　乃	49
選手 6	高　塚　和　恵	68
選手 7	根　本　文　恵	52
選手 8		
選手 9		

岡山県	桃太郎本舗	
監　督	坂　田　純　子	56
コーチ	高　芝　直　子	57
マネージャー		
選手 1	高　芝　直　子	57
選手 2	半　田　由美子	57
選手 3	坂　田　純　子	56
選手 4	藤　原　佳　子	52
選手 5	山　縣　こころ	49
選手 6	石　井　真　弓	48
選手 7	磯　部　寿美子	48
選手 8		
選手 9		

広島県	広島エコークラブ	
監　督	石　井　香　代	66
コーチ	関　城　聖　子	70
マネージャー	升　本　千　尋	76
選手 1	松　岡　律　子	58
選手 2	武　田　恵　子	54
選手 3	豊　島　志　穂	51
選手 4	井　手　俊　美	51
選手 5	永　井　仁　美	49
選手 6	太　田　淳　子	46
選手 7	平　野　真由美	65
選手 8	高　垣　順　美	51
選手 9	本　宮　　瞳	45

山口県	宇部シャトルズ	
監　督	熊　野　幸　恵	48
コーチ	礒　部　良　子	64
マネージャー		
選手 1	大　田　宙　子	53
選手 2	柳　井　美　穂	52
選手 3	熊　野　幸　恵	48
選手 4	村　田　さおり	48
選手 5	長　井　彩　子	41
選手 6	花　岡　美　妃	38
選手 7	角　　舞	34
選手 8		
選手 9		

香川県	AYAGAWA	
監　督	宮　本　葉　子	56
コーチ		
マネージャー		
選手 1	竹　内　真由美	61
選手 2	中　野　かほり	61
選手 3	島　﨑　須　美	58
選手 4	逢　坂　昌　子	57
選手 5	三　好　育　代	57
選手 6	藤　田　千亜希	56
選手 7		
選手 8		
選手 9		

徳島県	ママシャトル	
監　督	西　岡　　都	62
コーチ	京　野　まゆみ	54
マネージャー		
選手 1	河　野　君　枝	63
選手 2	尾　田　光　代	58
選手 3	江　頭　恵美子	67
選手 4	西　村　範　子	57
選手 5	近　藤　菜奈会	42
選手 6	京　野　まゆみ	54
選手 7	西　岡　　都	62
選手 8		
選手 9		

愛媛県	松山レディース	
監　督	武　智　五十鈴	68
コーチ	善　家　光　子	80
マネージャー	山　下　文　恵	73
選手 1	大　森　祐　子	57
選手 2	岡　本　富貴子	55
選手 3	國　和　千　歳	56
選手 4	野　間　由紀子	54
選手 5	萩　森　早百合	63
選手 6	帆　足　すま子	68
選手 7	森　　由　美	50
選手 8	増　元　久　美	46
選手 9		

福岡県	しもやまと	
監　督	永　松　慶　子	37
コーチ	中　原　幸　代	53
マネージャー	古　賀　奈　生	41
選手 1	永　松　立　子	68
選手 2	山　田　久　子	64
選手 3	堀　田　美　奈	54
選手 4	永　松　尚　子	41
選手 5	立　山　伸　子	50
選手 6	大　塚　結　子	40
選手 7	池　本　秋　子	58
選手 8	木　原　雅　子	57
選手 9	渡　辺　とき子	74

福岡県	フリーバード	
監　督	竹　岡　裕　美	54
コーチ	後　藤　明　子	54
マネージャー	麻　生　瑞　穂	59
選手 1	後　藤　明　子	54
選手 2	則　尾　亜紀子	60
選手 3	遠　山　理　恵	56
選手 4	土　肥　恭　子	54
選手 5	森　　仁　美	50
選手 6	前　村　弥　生	49
選手 7	柴　田　志　穂	47
選手 8	茅　島　亜矢子	43
選手 9	藤　田　桃　子	37

クラブ対抗　【参加　49チーム】

佐賀県	水　鳥　会	
監　督	林　　紀代子	65
コーチ	梁　井　芳　子	58
マネージャー		
選手 1	林　　紀代子	65
選手 2	梁　井　芳　子	58
選手 3	籾　山　優　子	57
選手 4	副　田　珠　美	57
選手 5	権　藤　めぐみ	53
選手 6	田　代　梨　紗	40
選手 7	吉　岡　恵　理	23
選手 8		
選手 9		

長崎県	大村パール	
監　督	若　林　玲　子	64
コーチ	鐘ヶ江　寿美子	57
マネージャー		
選手 1	若　林　玲　子	64
選手 2	神　田　あけみ	64
選手 3	東　　亜希子	60
選手 4	陶　山　美　秋	61
選手 5	鐘ヶ江　寿美子	57
選手 6	小　柳　さとみ	60
選手 7	池　田　夕　貴	37
選手 8		
選手 9		

大分県	宗方クラブ	
監　督	田　北　文　乃	68
コーチ	橋　爪　尚　美	57
マネージャー	佐　藤　裕美子	60
選手 1	田　北　文　乃	68
選手 2	木　許　登貴子	64
選手 3	守　口　悦　子	62
選手 4	下　郡　真　里	62
選手 5	田　口　富　美	60
選手 6	松　田　純　子	59
選手 7	橋　爪　尚　美	57
選手 8	園　木　珠　美	56
選手 9		

宮崎県	レディース宮崎	
監　督	渡　会　満　子	63
コーチ		
マネージャー		
選手 1	渡　会　満　子	63
選手 2	都　原　寿美子	68
選手 3	迫　田　文　子	64
選手 4	平　山　真由美	57
選手 5	伴　田　貴　子	58
選手 6	向　高　信　子	64
選手 7		
選手 8		
選手 9		

第43回全日本レディースバドミントン選手権大会開催要項
（都道府県対抗）

1. 主　　催　公益財団法人日本バドミントン協会　　日本レディースバドミントン連盟
2. 主　　管　和歌山県バドミントン協会　　和歌山県レディースバドミントン連盟
3. 後　　援　和歌山県　和歌山県教育委員会　公益社団法人和歌山県スポーツ協会
   和歌山市　和歌山市教育委員会
   公益社団法人和歌山県観光連盟
4. 特別協賛　ヨネックス株式会社
5. 協　　賛　ミズノ㈱　アメアスポーツジャパン㈱　㈱VICTOR SPORTS　グローブライド㈱
   ㈱ゴーセン　ファイテン㈱　アイベックスポーツ㈱　㈱落合コーポレーション
6. 期　　日　令和7年7月24日(木)・25日(金)・26日(土)・27日(日)

監督会議	24日(木)	15:30～		ダイワロイネットホテル和歌山
開会式	24日(木)	16:30～		ダイワロイネットホテル和歌山
懇親会	24日(木)	18:00～		ダイワロイネットホテル和歌山
競　技	25日(金)	9:00～	予選リーグ	和歌山ビッグホエール
	26日(土)	9:00～	予選リーグ及び決勝トーナメント	和歌山ビッグホエール
	27日(日)	9:00～	決勝トーナメント	和歌山ビッグホエール
閉会式	27日(日)	競技終了後		和歌山ビッグホエール

7. 会　　場　(1)ダイワロイネットホテル和歌山　和歌山市七番丁26-1　TEL 073-435-0055
   (2)和歌山ビッグホエール　和歌山市手平2丁目1-1　TEL 073-433-0035
   (3)和歌山ビッグウエーブ　和歌山市手平2丁目1-1　TEL 073-433-0035
8. 種　　目　都道府県対抗団体戦
9. 参加数　各都道府県1チームとする。但し、開催地は2チーム出場することができる。
10. 団体編成　(1)チーム監督1名、選手6～9名とする。各チームはコーチ、マネージャー各1名を置くことができる。
    (2)監督、コーチ、マネージャーは選手を兼ねることができる。その場合には、選手欄にも氏名を記載すること。
    (3)事故等による選手・監督の変更は、所定の届出用紙を大会事務局に提出し、監督会議の承認を得なければならない。変更届提出期限は、監督会議開始前までとする。
11. 競技規則　令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程並びに日本レディースバドミントン連盟大会運営規程による。
12. 競技方法　試合は3複(フリー、40歳以上、50歳以上)の年齢別対抗戦とし、ブロック別リーグ戦の後、決勝トーナメント戦を行う。但し、3位決定戦は行わない。
    一対戦において同一選手が2複を兼ねて出場することは出来ない。
13. 使用用器具　(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
14. 参加資格　参加者は令和7年度(公財)日本バドミントン協会及び 日本レディースバドミントン連盟に申込締切日までに登録済みの者(登録都道府県在住者に限る)。
    なお、参加チーム内、監督・コーチ・マネージャーを含め過半数は(公財)日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること。

15. 組 合 せ　(公財)日本バドミントン協会指名のレフェリーもしくはデピュティーレフェリーの指示の下、
主管団体役員との間で厳正に執り行う(前回ベスト8までをシードする)。

16. 参 加 料　(1)1チーム 40,000円

(2)参加料は、申込期日までに下記口座に振り込むこと。

金融機関名　ゆうちょ銀行

口座番号　14730-13995211

口座名義　和歌山県レディースバドミントン連盟

*領収書は発行しないので、振替受領書を保管のこと。

17. 申込期日　令和7年5月23日(金)必着のこと。

18. 申込方法　日本レディースバドミントン連盟ホームページよりダウンロードした所定の参加申込書に必要事項を入力して印刷を3部とり、各々を正・副・控として、正・副に各都道府県協会会長印を捺印の上、それぞれを申込締切日までに下記宛に送付すること。

なお、入力した「参加申込ファイル」は電子メール添付ファイルにて担当者あて送付すること。

19. 申込場所　(1)(正) 〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内
日本レディースバドミントン連盟事務局 TEL・FAX 075-692-3483

(2)(副) 〒640-8317 和歌山県和歌山市北出島105-15 早 香代 気付
第43回全日本レディースバドミントン選手権大会事務局
*振込票のコピーを添付すること。 TEL 090-9113-9140

(3)電子メール送付先 jlbf.entry@gmail.com 担当;綾野

20. 表　彰　(1)(公財)日本バドミントン協会より優勝・準優勝・3位に入賞メダルを授与する。

(2)日本レディースバドミントン連盟より、優勝・準優勝・3位に賞状を授与する。

21. 宿　泊　別紙宿泊要項による。

22. 連 絡 先　〒640-8317 和歌山県和歌山市北出島105-15 早 香代 TEL 090-9113-9140

23. 備　考　(1)年齢は令和7年4月1日現在とする。

(2)参加選手全員に参加賞を贈呈。

(3)競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。

(4)背面の表示は(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条によるものとし、
都道府県名を明示すること。都道府県名は日本語表記を原則とする。
本連盟大会運営規程により、上衣背面以外の部位へはいかなる表示も認めない。

(5)申込後、出場を取り消されても参加料は返金しない。

(6)大会に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、
これ以外の目的に利用することはありません。

(7)大会結果・写真等は、関連ホームページ・報道機関に提供、公開されることがある。

(8)盗難に注意し、貴重品等の管理は各自の責任で行うこと。

(9)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

(10)新型コロナウイルス感染症等拡大防止対策を行う場合は、大会ホームページに案内いたします。

(11)競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、傷害保険は(公財)日本バドミントン協会で加入していますので、必要な方は日バホームページの1種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。

第43回全日本レディースバドミントン選手権大会開催要項
（クラブ対抗）

1. 主　　催　公益財団法人日本バドミントン協会　　日本レディースバドミントン連盟
2. 主　　管　和歌山県バドミントン協会　　和歌山県レディースバドミントン連盟
3. 後　　援　和歌山県　和歌山県教育委員会　公益社団法人和歌山県スポーツ協会
   和歌山市　和歌山市教育委員会
   公益社団法人和歌山県観光連盟
4. 特別協賛　ヨネックス株式会社
5. 協　　賛　ミズノ㈱　アメアスポーツジャパン㈱　㈱VICTOR SPORTS　グローブライド㈱
   ㈱ゴーセン　ファイテン㈱　アイベックスポーツ㈱　㈱落合コーポレーション
6. 期　　日　令和7年7月24日(木)・25日(金)・26日(土)・27日(日)

監督会議	24日(木)	15:30～		ダイワロイネットホテル和歌山
開会式	24日(木)	16:30～		ダイワロイネットホテル和歌山
懇親会	24日(木)	18:00～		ダイワロイネットホテル和歌山
競　技	25日(金)	9:00～	予選リーグ	和歌山ビッグホエール
				和歌山ビッグウエーブ
	26日(土)	9:00～	予選リーグ及び	和歌山ビッグホエール
			決勝トーナメント	和歌山ビッグウエーブ
	27日(日)	9:00～	決勝トーナメント	和歌山ビッグホエール
閉会式	27日(日)	競技終了後		和歌山ビッグホエール

7. 会　　場　(1)ダイワロイネットホテル和歌山　和歌山市七番丁26-1　℡ 073-435-0055
   (2)和歌山ビッグホエール　和歌山市手平2丁目1-1　℡ 073-433-0035
   (3)和歌山ビッグウエーブ　和歌山市手平2丁目1-1　℡ 073-433-0035
8. 種　　目　クラブ対抗団体戦
9. 参加数　各都道府県1チームとする。他に開催地に1チームおよび登録会員数の多い都道府県に
   複数チームの出場枠を与える。各都道府県の出場枠割当数は別紙のとおりとする。
10. 団体編成　(1)チーム監督1名、選手6～9名とする。各チームはコーチ、マネージャー各1名を置くことができる。
   (2)監督、コーチ、マネージャーは選手を兼ねることができる。その場合には、選手欄にも氏名を
   記載すること。
   (3)事故等による選手・監督の変更は、所定の届出用紙を大会事務局に提出し、監督会議の承認を
   得なければならない。変更届提出期限は、監督会議開始前までとする。
11. 競技規則　令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程並びに
   日本レディースバドミントン連盟大会運営規程による。
12. 競技方法　試合は3複(選手の合計年齢は240歳以上とし、ペアの組合せは自由)の対抗戦とし、
   ブロック別リーグ戦の後、決勝トーナメント戦を行う。但し、3位決定戦は行わない。
   一対戦において同一選手が2複を兼ねて出場することは出来ない。
   参加数によって、ポイント制限を行う。
13. 使用用器具　(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
14. 参加資格及び参加制限　(1)参加者は令和7年度(公財)日本バドミントン協会及び 日本レディースバドミントン連盟に
   申込締切日までに登録済みの者(登録都道府県在住者に限る)。
   なお、参加チーム内、監督・コーチ・マネージャーを含め過半数は(公財)日本バドミントン協会
   公認審判員の有資格者であること。

(2)選手は社会人になってからバドミントンを始めた者であること。
・学校授業でのバドミントン経験者は出場できる。
・他連盟での活動経験者も、上記に該当する者は出場できる。
・上記に違反した場合には、判明した時点でそのチームを失格とする。
(3)1クラブ1チームとし、他クラブとの混成は認めない。
(4)前回の本大会優勝、準優勝及び3位入賞者は1年間出場できない。(第42回令和6年度の入賞者)

15. 組合せ　(公財)日本バドミントン協会指名のレフェリーもしくはデピュティーレフェリーの指示の下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

16. 参加料　(1)1チーム 40,000円
(2)参加料は、申込期日までに下記口座に振り込むこと。
金融機関名　ゆうちょ銀行
口座番号　14730-13995211
口座名義　和歌山県レディースバドミントン連盟
*領収書は発行しないので、振替受領書を保管のこと。

17. 申込期日　令和7年5月23日(金)必着のこと。

18. 申込方法　日本レディースバドミントン連盟ホームページよりダウンロードした所定の参加申込書に必要事項を入力して印刷を3部とり、各々を正・副・控として、正・副に各都道府県協会会長印を捺印の上、それぞれを申込締切日までに下記宛に送付すること。
なお、入力した「参加申込ファイル」は電子メール添付ファイルにて担当者あて送付すること。

19. 申込場所　(1)(正) 〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内
日本レディースバドミントン連盟事務局TEL・FAX 075-692-3483
(2)(副) 〒640-8317 和歌山県和歌山市北出島105-15 早 香代 気付
第43回全日本レディースバドミントン選手権大会事務局
*振込票のコピーを添付すること。 TEL 090-9113-9140
(3)電子メール送付先 jlbf.entry@gmail.com 担当;綾野

20. 表彰　(1)(公財)日本バドミントン協会より優勝・準優勝・3位に入賞メダルを授与する。
(2)日本レディースバドミントン連盟より、優勝・準優勝・3位に賞状を授与する。

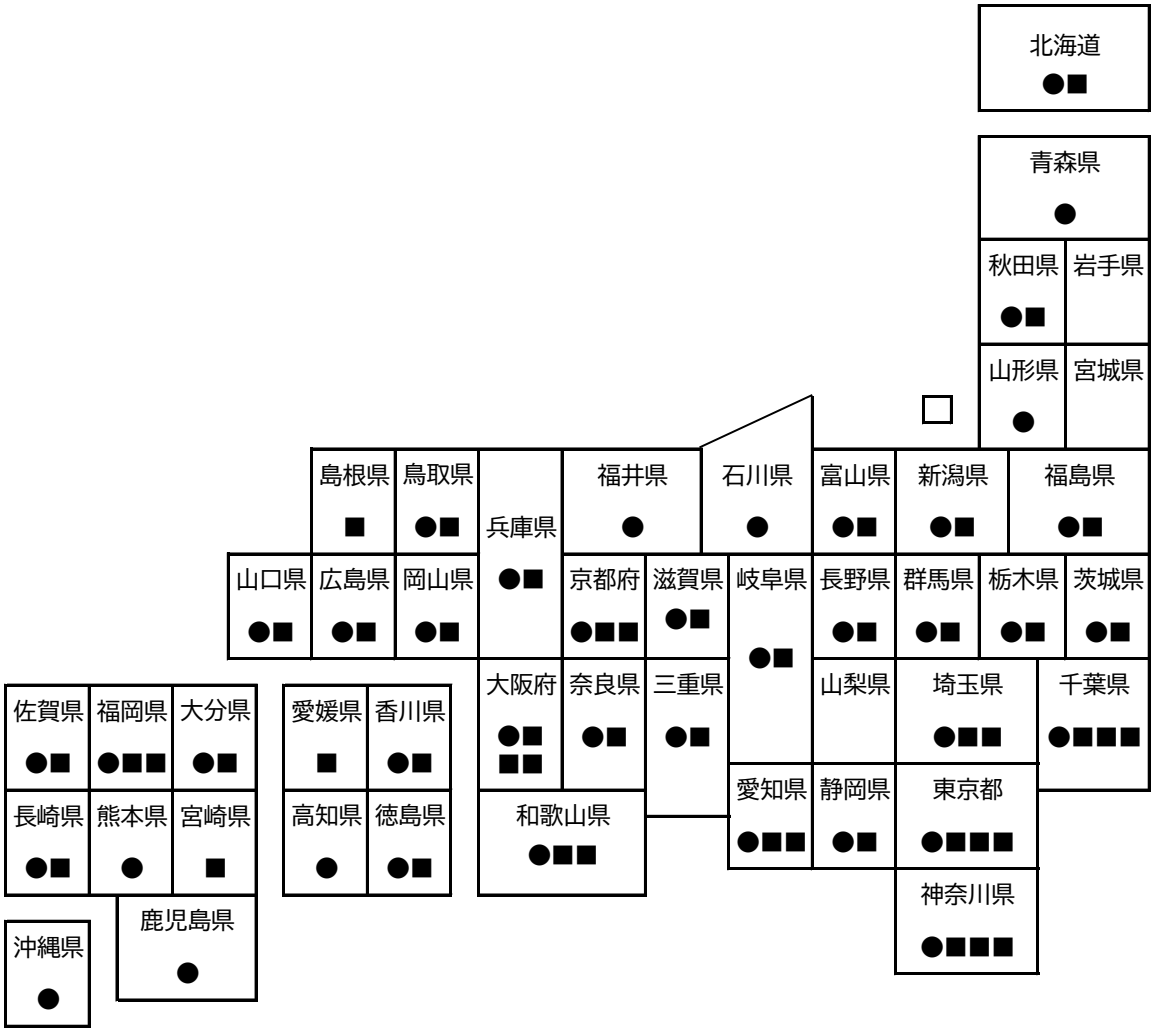
21. 宿泊　別紙宿泊要項による。

22. 連絡先　〒640-8317 和歌山県和歌山市北出島105-15 早 香代 TEL 090-9113-9140

23. 備考　(1)年齢は令和7年4月1日現在とする。
(2)参加選手全員に参加賞を贈呈。
(3)競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
(4)背面の表示は(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条によるものとし、都道府県名・クラブ名を明示すること。都道府県名は日本語表記を原則とする。
本連盟大会運営規程により、上衣背面以外の部位へはいかなる表示も認めない。
(5)申込後、出場を取り消されても参加料は返金しない。
(6)大会に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ外の目的に利用することはありません。
(7)大会結果・写真等は、関連ホームページ・報道機関に提供、公開されることがある。
(8)盗難に注意し、貴重品等の管理は各自の責任で行うこと。
(9)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。
(10)新型コロナウイルス感染症等拡大防止対策を行う場合は、大会ホームページに案内いたします。
(11)競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、傷害保険は(公財)日本バドミントン協会で加入していますので、必要な方は日バホームページの1種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。

参加都道府県一覧

九州	四国	中国	近畿	東海	北信越	関東	東北	北海道
福岡県	香川県	鳥取県	滋賀県	静岡県	新潟県	茨城県	青森県	北海道
佐賀県	徳島県	島根県	京都府	愛知県	長野県	栃木県	秋田県	
長崎県	愛媛県	岡山県	大阪府	三重県	富山県	群馬県	山形県	
熊本県	高知県	広島県	兵庫県	岐阜県	石川県	埼玉県	福島県	
大分県		山口県	奈良県		福井県	千葉県		
宮崎県			和歌山県			東京都		
鹿児島県						神奈川県		
沖縄県								



● 都道府県対抗　参加　41チーム

■ クラブ対抗　参加　49チーム


MIZUNO
REACH BEYOND
Enerzyframe
Challenge Yourself.
Enerzyframe
ACROSPEED
MIZUNO BADMINTON
jpn.mizuno.com 0120-320-799

FIERCE

Wilson®



松友美佐紀

より強く、よりしなやかに。

FIERCE V9



FIERCE 9000

FIERCE 8000

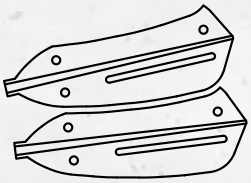
FIERCE 7000

FIERCE 2000

VICTOR

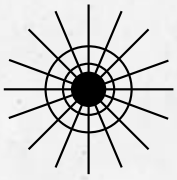
NCS Pro

次世代型 カーボンシャトル 長く使える、快適に続けられる



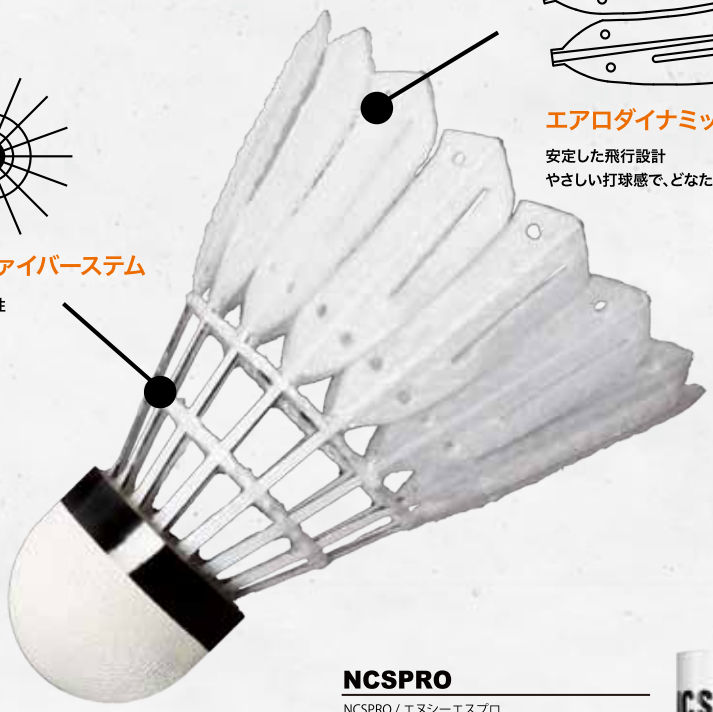
エアロダイナミックフェザー

安定した飛行設計
やさしい打球感で、どなたでも扱いやすい



高強度カーボンファイバーステム

毎日の練習にも安心の耐久性
軽やかな打ち心地



NCSPRO

NCSPRO / エヌシーエスプロ

¥オープン価格 （1ダース） 中国製

材質
フェザーシャフト：カーボンファイバー
合成フェザー：LDPE（低密度ポリエチレン）
ヘッド：コルク





NEW CARBONSONIC PRO

コストパフォーマンスと耐久性に優れた練習球

株式会社 VICTOR SPORTS
大阪市西区阿波座 1-15-19 ビクタースポーツビル
TEL ：06-4394-7660
FAX：06-4394-7670



WOMEN'S ／ゲームシャツ WS5052 ￥8,580（税込）ブルーグリーン (186) ／スカートWS5301 ￥8,250（税込）ブルーグリーン(186)
MEN'S ／ゲームシャツ MS5003 ￥8,800（税込）ブルーグリーン (186) ／ストレッチハーフパンツMS5201 ￥8,250（税込）ブラック(165)

Prince バドミントンラケットは（公財）日本バドミントン協会検定合格品です

GLOBERIDE A Lifetime Sports Company
グローブライド株式会社



和歌山県NO.1

バドミントンプロショップ

RACKET SHOP
RALLY SMILE

専門スタッフがガット選びからプレーのアドバイスまで
様々な面でサポートします！







営業時間
火～日 12:00～19:00
定休日
毎週月曜日

Google map　LINE　Instagram

〒640-8384 和歌山県和歌山市吉田305 グレース吉田101　TEL 073-488-8104

リンパ療法整体サロン

ARUKU

ARUKUでは、新リンパ療法と整体を組み合わせた施術で、リンパの流れを促進し、深層部の筋肉までアプローチすることで、背骨と骨盤の歪みを整えることで、身体全体のバランスを整えます。
これにより、冷え・むくみ・しびれ・痛みなど慢性的な症状の改善が期待できます。









MENU

初回限定　スタンダードコース

骨盤矯正＋リンパデトックスを組み合わせ、筋肉のコリや疲れをほぐします。
服は着たままオイルは使用せず行います。

通常価格　7,200円 ▶ 3,500 円(税込)
(初見料込¥1,200)

【2回目以降】 スタンダードコース

通常価格　6,000円 ▶ 5,000 円(税込)

【遠赤外線】　温熱コース

サーモファイヤー温熱療法
骨盤矯正＋200℃の高温と遠赤外線で身体の芯から温め冷えを根本から改善。
血行を促進し新陳代謝を活性化。自然治癒力を高め健康な体へ

通常価格　8,000円 ▶ 6,000 円(税込)

【小顔効果】 イオンゴールドコース

純金金箔に泡パック！
骨盤矯正＋フェイシャルリンパテクニックで気になるほうれい線にアプローチ♡イオンゴールドで老廃物を排出し、リフトアップ&美白効果も期待できます。

通常価格　8,000円 ▶ 5,500 円(税込)

おすすめ　プレミアムコース

イオンゴールドコース＋骨盤矯正＋リンパデトックスを組み合わせ、筋肉のコリや疲れをほぐします。美と健康を手に入れましょう。

通常価格　13,000円 ▶ 9,500 円(税込)

リンパセンター　ARUKU
リンパ療法師
整体師・温熱療法師　榎本　小友理
予約制　＊当センターは基本的に女性向けですが
ご紹介の方であれば男性の方もご利用頂けます

和歌山県紀の川市東大井50-1
090-5243-7026
和歌山ミント所属

LINE